

# 調査研究報告

## 富士市立博物館寄託資料・大宝院秋山家資料目録

大高 康正

富士市立博物館には、秋山家(旧大宝院)の所蔵資料が寄託されている。秋山家は現在富士市内に在住するが、昭和20年代前半までは富士宮市村山地区に居住しており、地域社会で「法印(ほうえん)さん」と畏怖・尊称されていた修験道を実践する山伏として活動していた。この秋山家の所蔵資料(大宝院秋山家資料)は、未だ実態が解明されたとは言い難い富士山修験道の教義や次第に関する聖教類をはじめとして、近代における民間宗教者の宗教活動の実態解明や、まじない習俗に関する研究分野の進展にも寄与が期待される資料群であり、今回富士市立博物館に寄託されている大宝院秋山家資料の目録を掲載する。公開に当たっては現在の秋山家当主・和珍氏の御理解と御協力を賜った。

目録は【文書・記録編】と仏像・法具・衣料・その他をまとめた【その他編】に分けたが、総点数は千百点以上にも上っている。資料の年代的な傾向として、寛文九年(1621)の「自身引導作法次第」(【文書・記録編144 1番】)といった近世初期に遡るものもあるが、伊豆国平田村の平間山医宝寺(三島市平田カ)所蔵との奥書をもっており、こうした資料は他にも【文書・記録編28 1・58 10・70 1・144 1・256・258・333番】等でも確認される。医宝寺の詳細はわからないが、修験道当山派に関わる書籍を所蔵しており(【256番】)、また万治二年(1659)に医宝寺に居たことが確認できる「義慶」は、「足留之大事」を伝授した「大先達宝蔵院義慶」としても確認できることより(【58 10番】)、修験道の加持祈禱を伝えていた寺院であったと考えられ、この医宝寺所蔵資料が何らかの事情によって、後に大宝院所蔵となったものと理解される。その他、「大日如来坐像」(【その他編10番】)は享保二年(1717)制作の銘文をもっており、また「五鈷杵」(【その他編63番】)のように中世まで制作時期が遡る可能性が考えられるものもあるが、資料群の全体的な傾向としては、近代以降の大宝院の宗教活動に伴うものが中心となつてこよう。

文書・記録類の内容で注目すべきは、富士山修験道に関する聖教類の中に富士峯修行に関する史料が含まれていること【文書・記録編74・87 - 1・122・264 - 1】と、家相や占術・易学・命名といったまじない習俗に関する民間宗教者としての活動を支えたテキスト類が多く所蔵されていることにある。こうした活動を裏付ける祈禱札や版木などの刷物類も所蔵されており、寄附帳は大宝院の廻檀配札活動と旦那場の存在を示すものである。伝来過程で散逸した資料もあった可能性は考慮しなければならないが、大宝院秋山家資料で「大宝院」の名が直接確認できる初見は、嘉永三年(1850)の「〔諸祈禱次第伝授〕」(【文書・記録編145番】)である。この点は大宝院と秋山家の関係に影響するものと考えられる。大宝院秋山家資料は、江戸時代後期に現在の秋山家につながる寿芳が大宝院を継承し、その際相続することになったと思われる資料に加えて、近代以降の秋山家の「法印(ほうえん)さん」の宗教活動によって蓄積された資料群により構成されている。

大宝院のような地方に居住した宗教者は、地域住民の現世利益の求めに対応することでその存在を保ち続ける必要があった。「法印(ほうえん)さん」とは、修験道を実践した山伏でありながらも、その実は修験道・密教・陰陽道・神道・道教といった雑多な知識を駆使して、まじない習俗を行っていた民間宗教者なのである。こうした姿は、近世以前にも遡り得るものであろうし、また富士山の「法印(ほうえん)さん」に限定されたものでもないだろう。地方の宗教者には普遍的に共通するものだったと理解される。

現在、大宝院秋山家をはじめとして、村山からかつての姿を留めた富士山の「法印(ほうえん)さん」は居なくなってしまった。おそらく行法の秘伝の多くが誰にも相伝されないままに絶えてしまったであろう。これもひとつの時代の流れとして止むを得ない部分はある。「法印(ほうえん)さん」が、かつての「法印(ほうえん)さん」の姿であり続けるためには、富士峯修行によって験力を高めていくことと、廻檀配札活動によって支援者を維持し続けることが不可欠だからである。こうした意味から大宝院秋山家資料とは、ついほんの数十年前までは何百年と伝承されてきた文化を垣間見ることのできる資料群として、稀有な存在価値をもっているのである。

## 大宝院秋山家資料目録【文書・記録編】

番号	資料名	年月日	西暦	差出	宛名	員数	形態	寸法 (cm)	備考
1-1	唐詩選画本	天明8年12月	1788	東都書林 小林新兵衛板		1	冊子	22.6 ×16.0	
1-2	{切紙}					4	切紙	8.4×8.2	1-1の頁内に綴じ込み。メモ用紙またはしおりとして使用か。
2-1	職原抄講義(上)	明治29年3月再版	1894	大阪 明善堂蔵版		1	冊子	18.6 ×12.4	帙一括。大久保初雄著。
2-2	職原抄講義(下)	明治29年4月再版	1894	大阪 明善堂蔵版		1	冊子	18.6 ×12.4	帙一括。大久保初雄著。
3	赤穂義士四十七士帖	大正3年9月5日28版	1914	東京市日本橋区馬喰町二丁目 綱島書店		1	冊子	9.3 ×13.1	
4	欧州大戦遊戯(双六)	大正5年1月1日発行	1916	少年倶楽部		1	印刷	54.6 ×78.9	少年倶楽部附録(第1号第3巻)。
5	卒業記念帳(町立実科女学校)	大正7年3月	1918	静岡県富士郡大宮町立実科高等女学校		1	冊子	18.4 ×26.7	秋山千写真あり。
6-1	姓名構成秘法	大正14年1月2日発行	1925	東京日本橋区 神易館蔵版		1	冊子	22.1 ×14.1	石島道将著。
6-2	{切紙}					1	切紙	12.8 ×20.0	6-1の頁内に綴じ込み。「景子・恵子・容子・時子」と記し、命名を卜占した際のメモ書か。年賀包装袋を利用。
6-3	{切紙}					1	切紙	10.0 ×4.1	6-1の頁内に綴じ込み。命名を卜占した際のメモ書か。'富士市一の宮内田久美子'とあり。

7	入峯大観	昭和3年9月25日発行	1928	京都市 聖護院門跡		1	冊子	21.8 ×28.8	
8	入峯大観	昭和3年9月25日発行	1928	京都市 聖護院門跡		1	冊子	21.8 ×28.8	
9	入峯大観	昭和3年9月25日発行	1928	京都市 聖護院門跡		1	冊子	21.8 ×28.8	
10	{大峰入峰記念写真}	昭和11年7月10日	1936	(聖護院門跡)		1	写真	22.5 ×27.4	吉野金峯山寺蔵王堂前にて。
11	{拓本}					1	切紙	131.6 ×34.3	「清夜無塵月色如銀酒斟時須滿十分浮名浮利休苦勞神似隙中駒石中火夢中身」とあり。
12	{書画}	丁巳夜日		歎水書		1	切紙	29.2 ×103.8	「却足川白滅」とあり。朱印3ヶ所あり。
13	{書画}			六十有四拝徳川家綿高義謹書		1	切紙	108.4 ×39.0	「白雪抱幽石仙」とあり。朱印4ヶ所あり。
14	{書画}			徳川家綿高義謹書六十有四拝		1	切紙	108.7 ×39.2	「一 糸愛園林」とあり。朱印3ヶ所あり。
15	{墨彩画}(蟹)			文海主人釣客亭		1	切紙	18.1 ×39.4	秋山文作画か。
16	{大黒天像刷物}					2	印刷物	39.8 ×31.2	朱印1紙につき1ヶ所の計2ヶ所あるが、1紙は朱印のみ押印。
17	{書籍}(陰陽道の卜術)			三都書林		1	冊子	18.0 ×11.8	名称不明。表紙裏「村山大宝院」と記入あり。
18	師範学校国文教科書 預備科用巻中	明治41年1月30日訂正再版	1906	東京市裏神保町六番地 光風館書店		1	冊子	22.2 ×15.0	吉田弥平編。
19-1	師範学校国文教科書 預備科用巻下	明治41年1月31日訂正再版	1908	東京市裏神保町六番地 光風館書店		1	冊子	22.2 ×15.0	吉田弥平編。
19-2	{成績一覧表}					1	縦紙	23.4 ×32.6	19-1の頁内に綴じ込み。裏面メモ書あり。
20	常識教科書 知らぬと恥					1	冊子	18.0 ×10.6	落丁あり。
21	{墨彩画}			龍川		1	切紙	23.6 ×98.7	朱印2ヶ所あり。
22	{墨彩画}	癸巳秋日		龍川生		1	切紙	23.5 ×25.4	朱印1ヶ所あり。
23	{墨彩画}			龍川生		1	切紙	23.5 ×25.9	朱印1ヶ所あり。
24	{墨彩画}			龍川		1	切紙	13.7 ×19.9	朱印2ヶ所あり。
25	{書画}			家綿		1	切紙	138.7 ×14.8	「白雪抱幽石神」とあり。朱印2ヶ所あり。
26	{靈心}(水墨画練習帳)					1	折本	20.6 ×8.4	笹の図柄あり。
27	{靈心}(水墨画練習帳)					1	折本	20.6 ×8.4	鶏の図柄あり。
28-1	種類集	寛文7年12月吉日	1667	高橋清兵衛(板)		1	冊子	26.2 ×18.4	奥書「寛政五年癸丑龍二月十九日医宝寺」とあり。
28-2	{切紙}(種子拔書)					1	切紙	16.8 ×11.9	28-1の頁内に綴じ込み。
29	邪呪禁法則 巻上・中	貞享元年仲秋下旬	1684	中野小左衛門板行		1	冊子	18.5 ×13.0	「巻海三廻忌追福」に関する奥書あり。
30	大般若波羅蜜多經 第五百七十八	貞享2年正月	1685	慈海宋順		1	折本	25.7 ×7.7	前欠、78の後半部分。
31	増補医道便易	文政8年正月再版	1825	京都書林 寺町通御池上ル鉛屋安兵衛ほか3名		1	冊子	15.3 ×10.5	
32	増補医道便易			東都書肆 山崎金兵衛版		1	冊子	16.0 ×11.2	裏表紙欠落。
33	図説教授家相大全 巻之上	寛政12年11月	1800	京都 風祥堂梓		1	冊子	17.5 ×12.1	松浦東鷗著。
34	龍背発秘	昭和11年3月22日午後9時写終	1936	芳季		1	冊子	25.0 ×17.0	写。原本には文政九年荒井堯民の跋文あり。
35	天台宗寺門派勤行要集	天保10年	1839	園城後裔権僧正珉瑛款題		1	折本	14.9 ×8.1	聖護院蔵版。
36	家相秘伝集 巻之上	天保11年	1840	誠之堂		1	冊子	22.1 ×14.7	松浦東鷗著。題箋分離。
37	校正古易察病伝 全	天保14年	1843	東京書肆 薫志堂梓		1	冊子	17.8 ×11.6	新井白蛾伝書、釈便道校正。

38	中臣祓	慶応3年3月再刻	1867	東京日本橋南町目 書肆須原屋茂兵衛		1	折本	14.8 ×6.3	
39	永平大清規 坤	明治17年3月30日刻成	1884	出版人 京都府平民出雲寺文二郎		1	冊子	26.1 ×18.6	増冠傍註人 岐阜県平民権中講義古田梵仙人。
40	新編易学小笈	明治19年6月9日開版	1886	東京書肆 広文堂蔵版		1	冊子	17.5 ×12.1	村田玉樹編、安田恒太郎出版。奥書「秋山文海」とあり。
41	佛祖三経指南 卷中・下	明治20年3月5日刻成	1887	出版人 京都府平民出雲寺文治郎		1	冊子	26.5 ×19.0	表紙「仏意教経 坤」とあり。町元呑空編輯。
42	冠導孝論 全	明治21年5月22日出版	1888	京都書肆 出雲寺		1	冊子	25.9 ×18.5	町元呑空編輯。
43	増補頭書易学小笈	明治22年1月26日出版	1889	東京書肆 富山堂		1	冊子	17.9 ×11.8	新井白蛾伝書。朱印「秋室」2ヶ所あり。
44	{祭文}	明治23年庚寅旧今月今日	1890			1	豎紙	30.5 ×72.3	神前ででの小笠原鳴弦墓目録的行事に関する。
45	周易本筮指南	明治27年7月24日発行	1894	辻本尚古堂蔵版		1	冊子	18.4 ×12.7	中州眞勢遺志、龍山谷川著。
46-1	護摩堂寄附連名簿	明治28～33年	1895	富士山村山大宝院住職秋山寿芳謹白		1	罫紙綴	24.2 ×16.5	明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に関わる再建費用。奥付に明治34年の護摩堂修復時の「換舌」貼り付け。
46-2	{時刻早見盤}					1	切紙	6.8 ×7.7	46-1の頁内に綴じ込み。十二支の時刻。
47-1	堂宇建築寄附連名簿	明治28～30年頃カ	1897	富士山村山大宝院住職秋山寿芳		1	罫紙綴	24.0 ×16.2	表紙朱書「第壹号」。明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に関わる再建費用カ。
47-2	書留郵便物受取証	明治35年8月24日	1902	富士郡富士根村村山富士山法務所	駿東郡印野村大字北畑勝又市太郎	1	印刷物	11.4 ×8.3	47-1の頁内に綴じ込み。
47-3	緒言	明治30年	1897	富士山村山大宝院住職秋山寿芳敬白 周旋人富士周作ほか3名		1	印刷物	24.8× 34.1	47-1の頁内に綴じ込み。
47-4	{名刺}(阿武野易備)					1	切紙	8.2 ×4.3	47-1の頁内に綴じ込み。
48	{堂宇建築費寄附連名簿}	明治30年	1897	富士山村山大宝院住職秋山寿芳敬白 [印] 周旋人富士周作ほか3名		1	罫紙綴	24.0 ×16.4	明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に関わる再建費用。
49	堂宇建築費寄附連名簿	明治30年	1897	富士山村山大宝院住職秋山寿芳敬白 周旋人富士周作ほか4名		32	罫紙綴	24.2 ×16.8	1冊のみ記名あり。
50	天台宗寺門派宗会議員選被選挙人名簿	大正元年8月5日	1912	天台宗寺門派宗会議		1	印刷物	10.0 ×18.3	
51-1	修験道法具要解	大正2年5月25日3版	1913	御袈裟装束中法具所 京都烏丸通六角南入 岡田但馬祿 林勘兵衛		1	冊子	19.0 ×13.0	海浦義観著。明治34年11月30日初版。
51-2	大本山聖護院(本山派)御袈裟装束類直段書	明治33年10月印刷	1900	修験根本御袈裟所 京都市烏丸通六角南入 岡田但馬祿 林勘兵衛		1	印刷物	27.0 ×38.7	51-1の頁内に綴じ込み。
51-3	御結袈裟図			修験根本御袈裟司 京都市烏丸通六角南入 岡田但馬祿 林勘兵衛		1	印刷物	25.0 ×19.1	51-1の頁内に綴じ込み。
51-4	白隠禅師坐禅和讃					1	印刷物	17.9 ×38.8	51-1の頁内に綴じ込み。
52-1	当用日記	(大正9年カ)	1920	(東京 博文館発行)		1	冊子	18.9 ×13.3	秋山芳季記カ。富士山村山興法寺および村山修験の歴史をメモ書、および当用日記としても利用。
52-2	白色美身強壯剤ハルナー			東京市京橋区築地1丁目4番地		1	印刷物	6.4 ×9.9	52-1の頁内に綴じ込み。広告ビラ。
53-1	神変教会規約	昭和3年1月改正	1928	大本山聖護院門跡		1	印刷物	19.0 ×12.8	
53-2	{切紙}(真島師へ送達の連絡)	昭和15年4月18日	1940	聖護院上島取調(朱印「上島」)	秋山芳季殿	1	切紙	17.2 ×3.8	53-1の頁内に綴じ込み。僧祇検証し真島師へ送達の連絡。
54	命名(秋山芳子)					1	豎紙	31.5 ×40.8	秋山芳子氏は大正15年12月26日(太陰曆)生。
55	{祈禱札}(富士嶺探燈大護摩供如意満足祈所)					1	切紙	6.6 ×31.7	朱印「三国第一山根本表口奥院宝院」とあり。裏面に秋山芳子・芳一の誕生日・出生時間を記す。
56-1	寿命(戸嶋 男)					1	豎紙	31.5 ×40.8	「戸嶋 男」は昭和7年旧9月16日生。
56-2	{切紙}					1	切紙	27.9 ×2.9	寿命をト占した際の硬筆書メモカ。
57	寿命(秋山 武子)					1	豎紙	31.5 ×40.7	秋山武子は昭和5年2月3日(太陰曆)生。
58-1	方鑿必携	昭和7年5月20日発行	1932			1	冊子	18.8 ×12.5	奥付部分に「鷹岡町二移転二付覚」とあるメモ書を貼り付け。
58-2	{名刺}(真宗常願寺 赤淵宝城)			静岡県富士郡吉原町神戸 真宗常願寺方面委員住職赤淵宝城		1	切紙	8.5 ×4.8	58-1の頁内に綴じ込み。

58-3	{名刺}(笹原角蔵)			静岡県沼津市志下		1	切紙	9.0 ×5.0	58-1の頁内に綴じ込み。
58-4	{名刺}(渡邊義一)			静岡県富士宮市宮原483 富士宮郵便局 主事		1	切紙	9.0 ×5.4	58-1の頁内に綴じ込み。
58-5	{切紙}(メモ書)					1	切紙	14.4 ×5.0	58-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
58-6	{切紙}					5	切紙	21.4 ×4.3	58-1の頁内に綴じ込み。未記入。メモ用紙またはしおりと して利用か。
58-7	{切紙}					3	切紙	9.0 ×5.4	58-2の頁内に綴じ込み。未記入。メモ用紙またはしおりと して利用か。
58-8	{切紙}(メモ書)					1	切紙	14.4 ×5.0	58-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
58-9	大日光明真言功德経	明治35年8月2日	1902	大宝院		1	横帳	15.7 ×20.4	58-1の頁内に綴じ込み。奥書「明治参捨五年八月二日 富士峯修行之際写之」とあり。
58-10	足留之大事			伝師大先達宝蔵院義慶	伝受大先達医宝院信民	1	横帳	16.0 ×19.7	58-1の頁内に綴じ込み。
59	寿名(秋山幸子)					1	縦紙	30.8 ×40.9	秋山幸子は昭和7年2月3日(太陰暦)生。
60	天台宗寺門派修験道心得	昭和11年11月編	1936	天台宗寺門派宗務所		1	冊子	18.8 ×12.9	
61	天台宗寺門派宗務支所長、副宗務支所長、 選挙被選挙人名簿	昭和14年2月3日	1939	天台宗寺門派宗務所		1	冊子	10.9 ×18.6	訂正表在中。「選挙告示」および「選挙者心得」2枚貼り付 け。
62	宗教団体法・宗教団体法施行令・宗教団体 法施行規則			静岡県		1	冊子	20.7 ×14.5	宗教団体法(昭和14年4月8日)、宗教団体法施行令(昭 和14年12月23日)、宗教団体法施行規則(昭和15年1月
63	天台宗宗制	昭和16年6月1日発行	1941	滋賀県滋賀郡坂本村 天台宗宗務本庁		1	冊子	21.0 ×14.9	
64	命名(鈴木照子)			富士山大宝院謹疎[印](富士山大宝院)		1	縦紙	31.5 ×40.5	鈴木照子は昭和17年11月18日生。朱印2ヶ所(「(大日如 来)」・「富士山大宝院」)あり。
65-1	修了證(天台宗修練寮一課程履修)	昭和20年3月6日	1945	天台宗宗務本庁[印](天台宗宗務本庁 印)	第二教区聖護院徒弟秋山 芳一	1	罫紙	26.7 ×18.4	封筒一括。割印あり。
65-2	生存證明書(秋山芳季分)			村山三組隣保班長 静岡県富士郡富士 根村村山1242-3 秋山芳季[印]		1	罫紙	25.5 ×17.9	封筒一括。
66	寿名(秋山容子)			大宝院[印](富士山大宝院)		1	縦紙	40.4 ×31.6	秋山容子は昭和21年3月29日生。朱印3ヶ所(「(大日如 来)」・「(印文未詳)」・「富士山大宝院」)あり。
67-1	御寄附芳名	昭和34年2月11日	1959	修験宗総本山聖護院宮門跡直属富士山 大宝院権大僧都秋山芳季[印]・[印](富士		1	縦帳	24.0 ×16.5	昭和33年の吉原大月線国道新設による大宝院移転の費 用。
67-2	{切紙}					1	切紙	23.5 ×17.7	67-1の頁内に綴じ込み。足し算の計算メモ書き。
67-3	{切紙}					1	切紙	25.1 ×18.2	67-1の頁内に綴じ込み。寄付者芳名の抜書メモか。
67-4	{年賀状}	昭和36年元旦	1961		沼津市桃郷杉山宇	1	葉書	14.0 ×9.0	67-1の頁内に綴じ込み。未投函。
68	修験宗宗制					1	冊子	18.2 ×12.7	
69-1	易学小筌	文政3年5月再版	1820	浅野星文堂主人謹記		1	冊子	17.8 ×11.1	本文序に朱印「秋山家蔵書印」あり。
69-2	{切紙}					1	切紙	20.8 ×6.7	69-1の頁内に綴じ込み。未記入用途不明。和紙切紙を 朱で染めている。
69-3	記(領収証)	明治28年5月22日	1895	伊豆山温泉場内瀧 江島屋勝次	上様	1	印刷物	15.8 ×14.5	69-1の頁内に綴じ込み。
70-1	図印集					1	冊子	26.5 ×16.2	表紙裏「平田邑医宝寺」とあり。
70-2	{本尊不動明王由緒書}					1	継紙	27.4 ×65.3	70-1の頁内に綴じ込み。
71	諸経諸真言					1	折本	14.6 ×6.4	分離、後半部欠損。朱印「富士山壽福院」2ヶ所、朱印「富 士山験者鈴木右弁」1ヶ所あり。
72-1	改正略解法華経要品訓読 全	明治21年6月訂正出版	1888	書肆 須原屋茂兵衛[印]		1	冊子	18.5 ×12.8	題箋あり。
72-2	{切紙}					1	切紙	24.1 ×8.8	72-1の頁内に綴じ込み。経文の一文の書き上げか。
72-3	キ(領収証)			常陸や様		1	継紙	13.6 ×7.7	72-1の頁内に綴じ込み。
73	聖無動尊大威怒王秘密陀羅尼經					1	折本	26.7 ×8.5	裏面に祭文および「大宝院」とあり。
74	富士峰探灯大護摩次第					1	縦帳	22.8 ×15.5	奥付「山俣來作法私記他見無用」とあり。

75	家相図説大全 巻之中	明治30年3月18日発行	1905	京都市富小路通三条上ル福長町28番戸 中村浅吉		1	冊子	17.3 ×12.1	松浦久信著。
76	家相図説大全 巻之下	明治30年3月18日発行	1905	京都市富小路通三条上ル福長町28番戸 中村浅吉		1	冊子	17.3 ×12.1	松浦久信著。
77	壽名					1	竪紙	31.6 ×40.8	未稿。
78	大般若経 第五百七十八					1	折本	25.3 ×7.8	後欠、30の前半部分。
79-1	小笠原鳴弦墓目次第					1	竪帳	16.3 ×11.7	
79-2	{切紙}					1	切紙	12.8 ×9.7	79-1の頁内に綴じ込み。「由兵衛」の行方をト占した際のメモ書か。
79-3	{祈禱札}(三宝大荒神守護之攸)					2	印刷物	22.4 ×2.8	79-1の頁内に綴じ込み。
79-4	{幣束}					14	切紙	32.6 ×6.0	79-1の頁内に綴じ込み。包紙あり。
79-5	{切紙}					2	切紙	24.0 ×33.0	79-1の頁内に綴じ込み。用紙中央部を切り抜き、切り抜き部分はないが紙垂として利用か。
79-6	富士山疫神除御守					1	印刷物	12.7 ×2.7	79-1の頁内に綴じ込み。
79-7	{切紙}					3	切紙	16.7 ×24.4	79-1の頁内に綴じ込み。切紙の状態のまま未使用。
80-1	小笠原鳴弦墓目法	明治21年旧8月17日	1888			1	竪帳	16.3 ×11.7	
80-2	丑寅除之大事					1	竪紙	31.3 ×40.0	80-1の頁内に綴じ込み。
81-1	永平元禪師清規			京都出雲寺梓		1	冊子	26.2 ×19.0	裏表紙「清水主宰」とあり。
81-2	{切紙}					1	切紙	10.6 ×5.8	81-1の頁内に綴じ込み。本文の抜書メモか。
82-1	{書籍写}(陰陽道のト占術)					1	竪帳	23.2 ×15.5	
82-2	{切紙}					2	切紙	24.4 ×3.9	82-1の頁内に綴じ込み。「廿八才佐野光志」とあり。1枚は無記名。
82-3	{罫紙}					1	罫紙	23.7 ×16.1	82-1の頁内に綴じ込み。本文に追加する抜書メモか。
83-1	天盤定位図解 常用之二					1	竪帳	18.2 ×13.0	奥書「長谷川静男(印)」とあり。
83-2	{切紙}					1	切紙	8.6 ×2.8	83-1の頁内に綴じ込み。本文に関する抜書メモか。
83-3	{切紙}					1	切紙	13.6 ×3.2	83-1の頁内に綴じ込み。本文に関する抜書メモか。
84	天盤定位図解 常用之三					1	竪帳	18.2 ×13.0	裏表紙「長谷川静男」と記入あり。
85	天盤定位 常用之四也					1	竪帳	18.2 ×13.0	裏表紙「長谷川家静男」と記入あり。奥付(印「長谷川」)2か所あり。
86	天盤定位図解 常用之					1	竪帳	18.2 ×13.0	奥書「長谷川静男(印)」とあり。
87-1	諸家認記					1	竪帳	16.3 ×11.7	冒頭に神道諸宗管長宛の明治7年6月教部省乙第33号を記す。
87-2	{祈禱札}(富士山船靈弁財天女大漁満足守護之攸)			富士山大宝院		1	印刷物	30.6 ×11.4	87-1の頁内に綴じ込み。
87-3	{祭文}	明治31年今月今夜	1898	富士山奥ノ院興法寺大宝院敬白		1	竪紙	32.8 ×44.4	87-1の頁内に綴じ込み。下書か。
88	不動尊愚鈔			本屋五郎衛門開板		1	冊子	25.3 ×17.1	
89	祈禱相伝法					1	横帳	14.1 ×20.5	
90	峯中秘伝			写主鈴木祐弁		1	竪帳	27.8 ×19.9	預主秋山茂作。
91	地気法					1	横帳	15.5 ×20.8	
92	{祭文}			富士山村山大宝院大僧都芳季敬白		1	竪紙	39.4 ×54.4	裏打あり。
93-1	{書籍写}(陰陽道のト占術)					1	竪帳	17.8 ×11.5	奥付に朱印1ヶ所あり。

93-2	{罫紙}					1	罫紙	23.9 ×33.0	93-1の頁内に綴じ込み。「永田規矩造」ほか家族5名の名・年齢書上げ。
93-3	{切紙}					1	切紙	24.4 ×26.9	93-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
93-4	{切紙}					1	切紙	16.1× 7.1	93-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
93-5	{荷札}					1	荷札	10.7 ×4.8	93-1の頁内に綴じ込み。「沼津市我入道芹沢静雄長男 芹沢道明」とのメモ書き。
93-6	{広告ビラ}(旅館清水館支店)					1	印刷物	12.3 ×8.2	93-1の頁内に綴じ込み。
94-1	{祈禱記録}					1	横帳	16.3 ×24.9	裏表紙なし。
94-2	{切紙}					1	切紙	23.0 ×9.7	94-1の頁内に綴じ込み。ト占の際のメモ書か。「ひ奈村 渡辺本家巳之年の男」とあり。
95-1	胎蔵界念誦次第					1	冊子	26.1 ×18.8	裏表紙「箱根山延命院」、奥付「金胎山福寿院(摺消)」と あり。
95-2	{口上断簡}					1	切紙	12.9 ×22.8	95-1の頁内に綴じ込み。断簡右下部分。95-3の前半部 分か。
95-3	{書状断簡}			謙亮	歡喜院様	1	切紙	23.5× 16.5	95-1の頁内に綴じ込み。 95-2の後半部分か。
95-4	{切紙}(会爐中世天)					3	切紙	13.3 ×18.7	95-1の頁に綴じ込み。
96-1	修験道無常用集 卷上					1	冊子	25.7 ×18.1	奥付に朱印1ヶ所あり。
96-2	通俗和讃 因果の鏡	明治29年2月26日3版	1896	東京京橋区加賀町 国母社		1	冊子	14.9 ×10.6	96-1の頁内に綴じ込み。
97	修験三十三通記	明治28年2月23日	1895	中野六右衛門板行		1	冊子	27.8 ×20.0	表紙裏「宮嶋惣社富士浅間宮別当富士山権大僧都大泉 院求之」とあり。元禄2年7月中野六右衛門板本を鈴木祐 町元呑空編輯。表紙包紙「四十二章経 乾」、裏表紙「清 水主宰」とあり。
98	増冠傍註 佛祖三経指南			京都書舗 出雲寺蔵		1	冊子	26.2 ×18.6	
99-1	捨玉智恵海 巻之中	明治3年5月14日	1870	村山郷秋山九十九		1	冊子	22.5 ×15.3	奥書「富士山村山大宝院」とあり。
99-2	明治31年度分村税地租割前半期	明治31年5月	1898	富士郡富士根村村長長谷川興市	秋山茂作	1	印刷物	13.4 ×17.1	99-1の頁内に綴じ込み。
99-3	明治31年度分村税地租割前半期	明治31年5月	1898	富士郡富士根村村長長谷川興市	秋山寿芳	1	印刷物	13.4 ×17.1	99-1の頁内に綴じ込み。
99-4	富士根村村会議員半数改選の告知	明治31年5月9日	1898	富士郡富士根村村長長谷川興市	秋山茂作	1	罫紙	26.5 ×17.1	99-1の頁内に綴じ込み。
99-5	五体加持					1	切紙	16.8 ×39.6	99-1の頁内に綴じ込み。
100	不動尊護摩祈禱所建築寄附連名簿	明治40年1月	1907	富士郡村山富士山大宝院住職 秋山寿 芳敬白[印]		1	罫紙綴	24.0 ×16.4	駿東郡沼津町新裏東宮西宮出口丁分一冊。表紙に朱印 ('三国第一山根本表口奥院宝印')1ヶ所あり。沼津石原 区大塚不動尊に祈禱出張所を設立する建築費用。
101	不動尊護摩祈禱所建築寄附連名簿	明治40年1月	1907	富士郡村山富士山大宝院住職 秋山寿 芳敬白[印]		1	罫紙綴	24.0 ×16.5	駿東郡沼津町上本町・下本町・志下等分1冊。頁内に寄 付者メモ書6紙を在中。表紙に朱印('三国第一山根本表 口奥院宝印')2ヶ所あり。沼津石原区大塚不動尊に祈禱 出張所を設立する建築費用。
102	不動尊護摩祈禱所建築寄附連名簿			富士郡村山富士山大宝院住職 秋山寿 芳敬白[印]		4	罫紙綴	24.0 ×16.4	連名記載なし。沼津石原区大塚不動尊に祈禱出張所を 設立する建築費用をつのる旨を記す「換舌」あり。
103	不動尊護摩祈禱所建築寄附連名簿表紙					3	印刷物	25.0 ×33.1	表紙のみ。
104	護摩堂修腹信徒寄附連名簿	明治24年	1891	富士郡村山富士山大宝院住職 秋山寿 芳敬白[印]		2	罫紙綴	24.0 ×16.4	連名記載なし。表紙各「第三五号」・「第四二号」とあり。
105	護摩堂修腹信徒寄附連名簿表紙					1	印刷物	25.0 ×33.1	表紙「第三七号」とあり。
106	{祈禱礼文言・雜形集}					1	豎帳	17.8 ×11.8	裏表紙「長谷川静男」と記入あり。
107	佛説大荒神経					1	折本	26.8 ×8.6	裏面に「富士祝詞」を記載。
108	信徒寄附連名簿(大日堂修繕緒言)			富士山大日堂大別当浄蓮院住職権中講 師北畠栄鎮[印]・信徒総代富士周作ほ		6	罫紙綴	235. ×16.0	表紙朱書第六一・七四～七八号まで。本文記載なし。村 山大日堂修復費用。
109	信徒寄附連名簿(表口開墾郵便物の開祖)	大正12年3月9日	1923			1	罫紙綴	235. ×16.0	表紙朱書「第六二号」。
110	信徒寄附連名簿('真木祭'に就て)	大正12年3月記載	1923			1	罫紙綴	235. ×16.0	表紙朱書「第六三号」。未稿。

111	信徒寄附連名簿(祈禱礼文言雛形集)					4	罫紙綴	235. ×16.0	表紙朱書第七〇～七三号まで。
112-1	家相秘伝集 下之巻	明治21年12月28日出版	1888	東京神田区西福田町壱番地 伊藤岩次郎		1	冊子	22.0 ×14.6	松浦菜鶴著。
112-2	記(金銭書上)					1	綴紙	6.6 ×7.0	112-1の頁内に綴じ込み。
113	{朱印押印}					1	罫紙	25.0 ×33.8	朱印(「三国一山」・「三国第一山根本表口奥院宝印」・「(大日如来梵字)」・「伊豆三島町修文堂印房」)計12ヶ
114	図印集					1	冊子	25.3 ×18.5	
115	大般若理趣分転読加持法	明治8年2月5日発行	1933	京都市寺町五条上ル 山城屋文政堂 藤井佐兵衛		1	冊子	16.7 ×16.0	帙あり。
116	卜筮樞要 巻之下			書肆 大坂心齋橋北久太郎町 河内屋 喜兵衛板		1	冊子	21.5 ×13.8	
117	{祭文}			富士山村山大宝院権僧正芳季敬白		1	卷子	30.4 ×53.2	裏面3カ所破損部に種子を貼付。「権僧正」の部分を貼紙し訂正する。
118	{金剛界大日真言陀羅尼}					1	切紙	109.4 ×19.6	
119	{胎蔵界大日真言陀羅尼}			富士山寿法印九十七		1	切紙	96.4 ×26.3	
120	護摩私記					1	折本	17.3 ×12.7	
121-1	{村山浅間神社立木調}	大正6年12月	1917			1	罫紙	33.3 ×24.4	綴孔1カ所あり、合綴されていたものか。硬筆書。
121-2	{村山浅間神社立木調}	大正6年	1917			1	罫紙	33.3 ×24.4	綴孔1カ所あり、合綴されていたものか。硬筆書。
121-3	{村山浅間神社立木調}					1	罫紙	24.4 ×33.3	綴孔1カ所あり、合綴されていたものか。硬筆書。
122	{富士峯修行行程メモ書}					1	罫紙	24.1 ×33.1	硬筆書。
123	英国公使「オールコック」氏等富士登山宿坊旧跡地(指導標)	大正11年11月2日	1922	駿州大宮町富士山麓発勝会		1	罫紙	24.3 ×33.1	オールコック富士登山宿坊旧跡地指導標の碑文か。
124-1	{村山浅間神社立木調ほか}	明治41年	1908			1	綴	14.0 ×18.3	
124-2	{罫紙}					1	罫紙	22.1 ×15.1	124-1の綴内に綴じ込み。境内立木に関するメモ書か。
125	富士王ヨリ頼尊二至ル血族関係					1	綴	14.2 ×18.1	
126	明治十二年当村ノ村山浅間神社社殿間敷他					1	綴	13.9 ×18.2	
127	修験道諸式次第	元禄7年仲秋月	1694	長谷川市郎兵衛開板		1	折本	17.3 ×12.7	
128	修験道諸式次第					1	折本	17.3 ×12.7	
129	{刷物}(富士山御中渡不動嶽)			(朱印「富士山浄連院」)		1	印刷物	64.0 ×30.0	不動尊像の版木刷物。
130	{祭文}					1	折本	16.0 ×10.0	巻末に般若心経あり。
131-1	本山修験勤行要集 上巻					1	折本	14.7 ×8.1	帙一括。裏面「三井正流十八道」を記す。
131-2	本山修験勤行要集 上之下巻					1	折本	14.7 ×8.1	帙一括。裏面「柱源護摩供養法」を記す。
131-3	本山修験勤行要集 下巻	天保10年6月	1839	松屋宇兵衛		1	折本	14.7 ×8.1	帙一括。朱印2ヶ所あり。裏面「息災護摩・加行印信」などを記す。
132	{祈禱礼}(三宝荒神虫留守護)					1	印刷物	24.7 ×6.5	包紙あり。包紙に「御守護・富士山修行者」・朱印(「三国一山」)とあり。
133	{祈禱礼}(富士山本尊大日如来・雲切聖不動明王・開山神変大菩薩守護之伎)					1	印刷物	24.1 ×8.4	朱印1ヶ所あり。
134	{祈禱礼}(大日如来種子・七難即滅・七福即生)					1	印刷物	24.4 ×6.9	
135	{祈禱礼}(不動尊法供諸障退散・除病安全祈処)					1	印刷物	24.6 ×5.7	
136	{祈禱礼}(富士山御祈禱之札)					1	切紙	27.5 ×7.7	朱印(「三国第一山根本表口奥院宝印」)1ヶ所あり。
137	{祈禱礼}(三宝大荒神守護之伎)					1	印刷物	24.5 ×5.5	朱印(「不動明王梵字」)1ヶ所あり。

138	{包紙}(三国第一虫留門札)					1	切紙	8.8 ×17.0	朱印2ヶ所あり。
139	{祈禱札}(正蛭 蛭止)					1	切紙	31.8 ×6.7	書き損じか。 はそれぞれ虫偏に「食」・「齒」・「兆」字。
140	{祈禱札}(正蛭 蛭止)					1	切紙	24.3 ×5.0	はそれぞれ虫偏に「食」・「齒」・「兆」字。
141-1	{祈禱札}(三宝荒神虫留守護)					1	印刷物	24.1 ×6.5	包紙一括。
141-2	{祈禱札}(正蛭 蛭止)					1	切紙	24.2 ×5.7	包紙一括。 はそれぞれ虫偏に「食」・「齒」・「兆」字。
142-1	{祈禱札}(正蛭 蛭止)					1	切紙	24.3 ×5.4	包紙一括。 はそれぞれ虫偏に「食」・「齒」・「兆」字。
142-2	{祈禱札}(三宝荒神虫留守護)					1	印刷物	24.1 ×6.8	包紙一括。
143	紙垂					1	切紙	12.3 ×33.5	
144-1	自身引導作法次第	寛文9年2月	1621			1	冊子	26.9 ×17.5	表紙裏「平田医宝寺現住法印義慶求之」とあり。本文1頁「平田医宝院信良(花押)」とあり。
144-2	護符書			駿州富士郡天台宗集寺門派妙泉院寿教示之	授与者秋山文海房	1	横帳	15.8 ×20.5	144-1の頁に綴じ込み。
144-3	{祈禱札}(三回忌追福伸)					1	切紙	31.8 ×12.5	144-1の頁に綴じ込み。
145	{諸祈禱次第授}	嘉永3年6月吉日	1850	富士山正大先達浄蓮院伝法妙泉院寿教示之	授与者大宝院寿芳	1	折本	17.8 ×11.1	裏に法華経勤持品第十三。
146	仏説阿弥陀経					1	折本	15.7 ×8.2	袖・奥に(印「秋山」)2か所あり。
147	金体両部大日如来(梵字)			富士山表口奥之院大宝院権大僧都寿芳法印八十四才翁書[印](富士山大宝院権)		1	切紙	89.4 ×37.8	朱印5ヶ所あり。
148	{修験道書式次第}					1	折本	17.3 ×12.6	付箋11カ所あり。暮目の大事など。
149	{修験道書式次第}					1	折本	17.3 ×12.6	付箋2カ所あり。帰命頂礼大悲帰命頂礼大悲など。
150-1	神祇講式	明治28年9月3日	1895	準教師鈴木祐弁写		1	折本	23.0 ×8.6	紐一括。表紙に「準教師秋山茂作」とあり。
150-2	薬師本願経 全	元禄9年4月8日	1696			1	折本	21.8 ×8.1	紐一括。題箋分離。「平吉山医宝寺」とあり。
151	(梵字真言)					1	切紙	58.6 ×36.5	端裏書あり。
152	(梵字真言)					1	切紙	109.0 ×39.2	朱印2ヶ所あり。
153	(不動三尊種子)					1	切紙	60.2 ×35.0	上部欠損。
154	寿名(秋山芳一)					1	縦紙	31.5 ×40.5	秋山芳一氏は昭和3年3月18日(陽)生。
155	(南無阿弥陀佛作文)					1	切紙	83.0 ×28.2	朱印5ヶ所あり。落款「鈴木孫三郎」。
156	障碍物破壊法	大正7年2月	1918	海軍水雷学校		1	冊子	19.8 ×13.8	「第1131号」。
157	電機	大正6年10月	1917	海軍水雷学校		1	冊子	19.0 ×12.8	普通科水雷術練習生用。
158	電機通信器及探照燈			海軍水雷学校		1	冊子	19.4 ×13.2	表紙欠落。裏表紙「大正八年六月十八日秋山芳季」とあり。
159	海軍在郷軍人須地(下士官兵ノ部)	大正11年2月改正	1922	帝国在郷軍人会本部		1	冊子	18.7 ×12.8	海軍省人事局編纂。
160	{秋山芳季海軍履歴}					1	罫紙	18.2 ×8.4	大正5年6月1日～昭和2年10月31日。
161	写 訓示	大正11年10月21日	1922	横須賀鎮守府司令長官財部彪		1	印刷	27.3 ×19.7	
162	生命保険契約申込書					1	印刷	27.6 ×39.5	
163	{海軍簡閱点呼の開始予告}	大正14年5月6日	1925	富士根村長代理	秋山芳季	1	罫紙	24.7 ×33.3	
164	領収証	大正12年2月2日	1923	静岡県富士郡大宮町浅間大社東 富士写真館	吉田先生	1	印刷	12.7 ×12.3	角印2ヶ所。割印1ヶ所あり。
165	給与金受領書用紙					1	印刷	13.7 ×19.7	



166	恩給復活二付請求書提出通知	昭和28年12月17日	1953			1	切紙・封筒	20.5 ×8.4	封筒に貼り付け。封筒に多数メモ書あり。
167	聖體護持標柱連立	昭和15年7月	1940	大本山聖護院門跡修験国禱会		1	印刷物	19.5 ×49.2	前半部欠損。裏に役行者姿「洗心」とあり。
168	{穀物貸付覚帳}					1	縦帳	24.2 ×16.3	明治33年～34年。
169-1	日記	大正12年	1923	秋山芳季		1	冊子	19.2 ×13.0	大正12年ライオン当用日記を使用。大正12年7月20日まで記入メモ書あり。題箋「新定家事教科書 上巻」同封。
169-2	告達	大正12年2月1日	1923	天台宗寺門派長吏事務取扱権大僧正柳田暹暾	派内正副管事	1	印刷物	19.8 ×13.7	169-1の頁内に綴じ込み。
169-3	{罫紙}(メモ書)					1	罫紙	22.3 ×14.5	169-1の頁内に綴じ込み。多数のメモ書あり。
169-4	郵便物受領証	大正12年9月30日	1923	富士根村 秋山芳季	吉田文俊	1	印刷物	8.7 ×17.5	169-1の頁内に綴じ込み。一部欠損。
169-5	送り券				田子浦村新浜 望月繁作 殿行	1	印刷物	28.2 ×14.1	169-1の頁内に綴じ込み。昭和の記載あり。出荷主秋山留吉、取扱店鈴川合同運送株式会社。
169-6	{所在地不明土地図}					1	切紙	33.5 ×24.7	169-1の頁内に綴じ込み。
169-7	{鳥ヶ塚・中島土地図}					1	切紙	18.3 ×48.0	169-1の頁内に綴じ込み。
169-8	{計算用紙}					1	縦紙	24.5 ×33.2	169-1の頁内に綴じ込み。「我入道浜 芹澤長三郎」とのメモ書あり。
169-9	{名刺}(石川均平)					1	切紙	8.1 ×4.5	169-1の頁内に綴じ込み。裏にメモ書あり。
169-10	郵便はがき	11月28日		秋山	静岡県富士郡富士根村々山秋山芳季様・秋山さわ様	1	葉書	13.0 ×8.1	169-1の頁内に綴じ込み。近況報告。
169-11	郵便はがき	12月15日3時			静岡県富士郡富士根村々山秋山芳季様	1	葉書	13.0 ×8.1	169-1の頁内に綴じ込み。近況報告。
169-12	郵便はがき	12月25日		秋山	静岡県富士郡富士根村々山秋山芳季様	1	葉書	13.0 ×8.1	169-1の頁内に綴じ込み。近況報告。
169-13	郵便はがき	12月27日		沼津ヨリ 秋山	静岡県富士郡富士根村々山秋山芳季様	1	葉書	13.0 ×8.1	169-1の頁内に綴じ込み。近況報告。
170	{記}(村山大鏡坊由緒)					1	縦紙	24.5 ×33.8	全2紙で構成。
171	ノート					1	冊子	20.2 ×14.5	裏表紙欠損。
172	ノート					1	冊子	20.5 ×16.0	破損甚大。
173-1	当用漢字辞典	昭和23年5月20日発行	1948	東京都港区芝南佐久間町2-10 斉藤書店		1	冊子	18.0 ×12.7	東京大学言語学研究室会編。奥付に新聞切抜「名前の漢字制限を緩和」を貼り付け。
173-2	源泉徴収票	昭和28年	1953	合資会社山崎鉄工所	秋山幸子	1	印刷物	10.0 ×14.8	173-1の頁内に綴じ込み。
174	新漢和大辞林索引			東京 公文書院		1	冊子	19.4 ×13.1	児島献吉郎監修。
175	現代大衆文学全集第三十三巻 国枝史郎集	昭和2年8月15日発行	1927	株式会社 平凡社		1	冊子	19.2 ×13.0	箱入り。国枝史郎著。「染吉の朱盆」ほか7篇。
176	生殖器学全書	大正8年6月15日7版	1819	大日本メイル株式会社出版部		1	冊子	15.0 ×11.0	箱入り。
177	修験道要目	昭和10年7月	1935	役門後学先達 信雅誌(宮城信雅)		1	冊子	21.9 ×15.3	
178	佛経読本	昭和12年12月15日発行	1937	あずま会出版部		1	冊子	22.0 ×15.2	山口光圓著。裏表紙(印「加来」)1ヶ所あり。
179	金剛山	昭和10年5月5日	1935	金剛山葛木神社社務所		1	冊子	18.2 ×10.8	
180-1	如意輪寺略史	昭和9年9月1日	1934	如意輪寺		1	冊子	17.2 ×9.4	
180-2	面不動鍾乳洞案内					1	印刷物	13.6 ×39.2	180-1の頁内に綴じ込み。
180-3	吉野山名所略図					1	印刷物	17.6 ×33.4	180-1の頁内に綴じ込み。朱印「如意輪寺」あり。
181	恭隨老師	昭和13年6月2日発行	1938	聖護院門跡内 恭隨老師追慕会		1	冊子	20.7 ×14.6	箱入り。
182	現代大衆文学全集第三十三巻 国枝史郎集	昭和2年8月15日発行	1927	株式会社 平凡社		1	冊子	19.2 ×13.0	箱入り。国枝史郎著。「染吉の朱盆」ほか7篇。
183	講談全集 水戸黄門・深川庄八・外三篇	昭和3年10月1日発行	1928	大日本雄弁会講談社		1	冊子	19.5 ×13.2	箱入り。

184-1	神社仏閣参拝記念集印帖	昭和11年	1936			1	折本	15.8 ×9.0	帙あり。榎原神宮・吉野神宮・吉野山蔵王堂・東光寺・熊野速玉・那智大社などの朱印。
184-2	熊野湯之峯名勝古刹天然化石湯之花薬師案内			小栗判官古跡東光寺		1	印刷物	12.8 ×38.4	184-1の頁内に綴じ込み。
184-3	峰中第一行場金峰神社并かくれ塔略記			金峰神社社務所		1	印刷物	15.0 ×24.2	184-1の頁内に綴じ込み。
184-4	日本一新発見面不動大鍾乳洞			大峯山洞川面不動鍾乳洞		1	印刷物	13.4 ×18.8	184-1の頁内に綴じ込み。
185	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 久根村					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	演言あり、名簿記載なし。
186	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 南一色組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
187	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	演言あり。
188	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 荻窪組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
189	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 伊豆島田組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
190	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 水窪組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
191	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 下土狩組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
192	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
193	醍醐講小社鳳閣寺組星祭信徒連名簿 下土狩組					1	罫紙綴	24.0 ×16.4	名簿記載なし。
194	人生の行路	大正8年1月15日14版	1919	東京市赤坂区榎坂町4番地 松本商会出版部		1	冊子	22.4 ×15.5	吉川潤二郎著。
195	人體解剖学 巻中	明治39年4月2日	1906	東京 博文館蔵版		1	冊子	23.1 ×15.5	石原弘編。
196	青年農業 作物篇	昭和21年4月30日発行	1946	東京神田区岩本町1番地 青年学校教科書株式会社		1	冊子	18.5 ×12.8	
197	譯文日本外史	明治45年3月15日	1912	東京 朝野書店		1	罫紙綴	15.5 ×10.0	上田景二釈注。冒頭に(印「秋山」)1ヶ所あり。
198	堂宇建築費寄附連名簿	明治32年	1899	秋山寿芳(印) 富士郡富士根村村山周施人4名		1	罫紙綴	24.2 ×16.8	明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に關わる再建費用。
199	堂宇建築費寄附連名簿	明治30年	1897	秋山寿芳 富士郡富士根村村山周施人4名		58	罫紙綴	24.2 ×16.8	1点のみ[印]あり。本文記載なし。明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に關わる再建費用。
200	堂宇建築費寄附連名簿	明治30年	1897	秋山寿芳(印) 富士郡富士根村村山周施人4名		1	罫紙綴	24.0 ×16.3	明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に關わる再建費用。
201	信徒寄附連名簿			権中講師北畠栄鎮 信徒総代富士周作ほか八名		57	罫紙綴	23.5 ×16.2	村山大日堂修繕緒言部分のみで本文記載なし。表紙朱書で「第七九号」等の号数記載あり。
202-1	永代雑書					1	冊子	24.7 ×17.0	
202-2	{切紙}(しおり)					1	切紙	10.8 ×5.1	202-1の頁内に綴じ込み。白紙、しおりとして使用か。
202-3	{冊子落丁頁}					1	印刷物	24.0 ×16.0	202-1の頁内に綴じ込み。下部欠損、本文の落丁頁か。
202-4	{年号改元之日早見表}					1	印刷物	24.3 ×14.6	202-1の頁内に綴じ込み。左右裁断か。
202-5	{切紙}(しおり)					1	切紙	12.4 ×8.2	202-1の頁内に綴じ込み。白紙、しおりとして使用か。
202-6	{切紙}(メモ書)					1	切紙	24.3 ×15.6	202-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
202-7	{切紙}(しおり)					1	切紙	9.1 ×8.3	202-1の頁内に綴じ込み。白紙、しおりとして使用か。
202-8	実用振動器発売ノ主旨			帝国發明合資会社		1	印刷物	19.8 ×27.3	202-1の頁内に綴じ込み。広告ビラ。
202-9	{切紙}(メモ書)					1	切紙	16.3 ×16.2	202-1の頁内に綴じ込み。失物を探すト占を行った際のメモか。
202-10	{切紙}(メモ書)					1	切紙	18.0 ×24.5	202-1の頁内に綴じ込み。ト占の際の硬筆書メモか。
203	郡中邑附倭国尽御手本	明治4年	1871			1	豎帳	24.8 ×17.5	
204	今泉邑五郎右衛門伝					1	豎帳	26.3 ×16.8	

205-1	両陛下御製	明治24年4月	1891	東京神田区駿河台北甲賀町3番地 愛生館主 高松保郎謹識(印)		1	印刷物	34.8 ×138.3	巻紙一括。
205-2	土方官内大臣心製歌	明治24年4月	1891	東京神田区駿河台北甲賀町4番地 愛生館主 高松保郎謹識(印)		1	印刷物	34.8 ×68.4	巻紙一括。
206	使用(蟻駆除法)			山梨県西八代郡富里村614番地 興業社[印]		2	印刷物	18.4 ×40.3	
207	海軍志願兵採用願控			平民 寿芳長男 秋山芳季		1	罫紙	27.8 ×40.0	秋山芳季は明治29年3月29日生。
208	{日本国尽并郡名}					1	縦帳	29.6 ×19.2	
209	総本山聖護院御遠忌大法会案内			聖護院内御遠忌事務局団参係		3	印刷物	19.0 ×26.9	
210	開祖智證大師千五十年御遠忌大法要御範	紀元2600年	1940	総本山園城寺		2	印刷物	9.0 ×7.5	包紙。黄・朱計2枚(散華)。
211	粗供養神変大菩薩一千二百年御遠忌(散華)					2	印刷物・木片	10.9 ×8.1	封筒あり。
212-1	郵便はがき			楊原村不動世話人	大宝院秋山殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。本年度星祭りの件。
212-2	郵便はがき	(昭和)15年4月17日	1940	滋賀県大津市三井寺園城寺円満院事務所内 秋山芳季	静岡県富士郡富士根村山秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-3	郵便はがき	(昭和)15年4月21日朝	1940	大津市三井寺山内御遠忌事ム所にて秋山芳季	静岡県富士郡富士根村山秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-4	郵便はがき	(昭和)15年4月22日朝	1940	園城寺事務所内 秋山芳季	静岡県富士郡富士根村々山 秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-5	郵便はがき	(昭和)15年4月21日夜	1940	三井寺内御遠忌事ム所内 秋山芳季	静岡県富士郡富士根村々山 秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-6	郵便はがき	(昭和)15年4月22日夜	1940	三井寺山内 秋山芳季	静岡県富士郡富士根村山秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-7	郵便はがき	(昭和)15年4月15日夜	1940	滋賀県大津市三井寺園城寺事務所内秋山芳季	静岡県富士郡富士根村村山 秋山いぐ様	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-8	郵便はがき	(昭和)15年4月16日	1940	三井寺山内 秋山	静岡県富士郡富士根村村山 秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-9	郵便はがき	(昭和)15年4月25日	1940	滋賀県大津市三井寺円満院事務所内秋山芳季	静岡県富士郡富士根村村山 秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-10	郵便はがき	(昭和)15年4月14日	1940	大津市三井寺山内御遠忌事務所内 秋山芳季	静岡県富士郡富士根村々山 秋山いぐ殿	1	葉書	14.1 ×9.0	紐一括。妻への近況報告。
212-11	郵便はがき	(昭和)15年6月20日	1940	大津市別所天台宗寺門派宗務所内 真島慶亮	静岡県富士郡富士根村村山 秋山芳季殿	1	葉書	14.1 ×9.0	全体を紐で括る。
213-1	推薦状	昭和15年6月	1940	推薦者大僧正山科晃玉 ほか20名		1	印刷物	18.7 ×54.2	全体を紐で括る。封筒あり。聖護院住職選挙に僧正岩本光徹師を推薦するもの。
213-2-1	兵第七六〇號	昭和15年7月1日	1940	静岡県学務部長(印)	代表者秋山芳季殿	1	縦紙	26.1 ×36.1	全体を紐で括る。封筒一括。
213-2-2	兵第七六〇號	昭和15年9月28日	1940	静岡県学務部長(印)	代表者秋山芳季殿	1	罫紙	24.7 ×16.8	全体を紐で括る。封筒一括。
213-3	庶乙第57号 寺院教会及宗教結社ノ諸報告ニ関スル件	昭和16年2月4日	1941	富士根村長	(秋山芳季殿)	2	縦紙	24.5 ×33.3	全体を紐で括る。封筒あり。
213-4-1	推薦状	昭和15年6月5日	1940	聖護院門跡選挙推薦者中西猷淳	秋山芳季殿	1	印刷物	17.7 ×38.7	全体を紐で括る。封筒一括。
213-4-2	庚辰第1号 派内一般	昭和15年5月29日	1940	長吏大僧正田中道淳	(秋山芳季殿)	1	印刷物	19.3 ×13.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-4-3	選挙者ノ心得				(秋山芳季殿)	1	印刷物	16.7 ×15.2	全体を紐で括る。封筒一括。
213-5-1	履歴書	昭和11年4月15日	1936	秋山芳季(印)		1	罫紙	24.0 ×32.9	全体を紐で括る。封筒一括。全3紙で構成。
213-5-2	履歴書			秋山芳季		1	罫紙	24.0 ×32.9	全体を紐で括る。封筒一括。
213-5-3	履歴書得度検証願	昭和11年4月	1936	秋山芳季		1	罫紙	24.0 ×32.9	全体を紐で括る。封筒一括。
213-5-4	履歴書授戒検証願	昭和11年4月15日	1936	秋山芳季	長吏大僧正田中道淳殿	2	罫紙	24.0 ×32.9	全体を紐で括る。封筒一括。1枚は書き損じか、書き損じの宛名は「長吏大僧正山科晃玉殿・田中道淳殿」とあり。
213-5-5	履歴書					1	罫紙	24.0 ×32.9	全体を紐で括る。封筒一括。未稿。
213-5-6	内田徳張書簡	昭和14年5月4日	1939	内田徳張(代上真真順)	秋山芳季殿	1	罫紙	26.5 ×19.2	全体を紐で括る。封筒一括。
213-5-7	承諾書	昭和15年	1940	秋山芳季(印)		4	縦紙	28.0 ×40.3	全体を紐で括る。封筒一括。朱印2ヶ所あり。

213-6	奉告文	昭和14年4月14日	1939	智證大師奉讃会会長伯爵松平頼寿		1	継紙	19.7 ×155.0	全体を紐で括る。封筒あり(11年4月27日付)。包紙あり。
213-7-1	御遠忌事務局彙報	昭和12年5月1日発行	1937	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	22.6 ×15.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-2	御遠忌事務局彙報	昭和12年10月15日	1937	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	22.6 ×15.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-3	御遠忌事務局彙報	昭和13年5月15日	1938	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	22.6 ×15.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-4	御遠忌事務局彙報	昭和13年11月15日	1938	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	22.6 ×15.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-5	御遠忌事務局彙報	昭和14年8月10日発行	1939	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	22.6 ×15.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-6	御遠忌事務局彙報号外	昭和15年3月25日発行	1940	天台宗寺門派御遠忌事務局		1	印刷物	30.6 ×45.6	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-7	修験号外(敬弔大僧正敬讓大和尚)	昭和13年9月1日発行	1938	聖護院門跡執事		1	印刷物	22.2 ×15.0	全体を紐で括る。封筒一括。
213-7-8	奉讃会会員募集責任額					1	印刷物	19.7 ×21.5	全体を紐で括る。封筒一括。
213-8-1	宗教結社届	昭和15年4月4日	1940	天台宗寺門派修験道村山行法結社代表者秋山芳季	静岡県知事小浜八彌殿	1	罫紙綴	24.3 ×16.6	全体を紐で括る。封筒一括。控あるいは下書か。
213-8-2	[天台宗寺門派修験道村山行法結社大要]	昭和15年4月1日組織		秋山芳季		1	罫紙	21.4 ×29.1	全体を紐で括る。封筒一括。不動明王と大日如来を本尊として安置とある。
213-9	戒牒	昭和11年4月	1936	一乗菩薩僧晃玉示	秋山芳季	1	罫紙	44.4 ×58.6	全体を紐で括る。封筒あり、包紙あり。検証長吏大僧正田中道淳(昭和11年4月17日)。朱印5ヶ所あり。
213-10-1	帰入を奨む	昭和21年3月	1946	修験宗大本山聖護院門跡		1	印刷	18.7 ×52.7	全体を紐で括る。封筒一括。帰入届・履歴書用紙。
213-10-2	修験宗独立宣言	昭和21年3月1日	1946	修験宗館長大僧正岩本光徹		1	印刷	19.0 ×34.9	全体を紐で括る。封筒一括。
213-10-3	帰入届用紙	昭和21年	1946		修験宗大本山聖護院門跡御中	1	印刷	25.5 ×18.1	全体を紐で括る。封筒一括。
213-10-4	[修験宗役員任命挨拶]	昭和21年3月1日	1946	総務僧正宮城信雅 他3名		1	印刷	18.2 ×25.6	全体を紐で括る。封筒一括。
213-10-5	修験宗独立す	昭和21年2月	1946	修験宗大本山聖護院門跡[印]		1	印刷	28.1 ×39.3	全体を紐で括る。封筒一括。
213-10-6	寺院規則					1	印刷	24.6 ×34.0	全体を紐で括る。封筒一括。3枚綴。
213-10-7	修験宗規則抜粋					1	印刷	24.5 ×37.8	全体を紐で括る。封筒一括。4枚綴。
213-10-8	所属宗派変更登記二開スル件	昭和21年3月1日	1946	修験宗庶務部[印]		1	印刷	25.5 ×36.0	全体を紐で括る。注意事項追加貼紙あり。
214-1	空封筒	(昭和)15年5月25日		大津市別所総本山園城寺中天台宗寺門派総務所	秋山芳季殿	1	封筒	23.2 ×9.4	紐一括。
214-2	空封筒	(昭和)38年3月15日		京都市左京区聖護院中町総本山聖護院門跡	秋山芳季殿	1	封筒	25.5 ×9.4	紐一括。
214-3	空封筒			京都市左京区聖護院中町総本山聖護院門跡修験宗本庁	秋山芳季殿	1	封筒	25.7 ×9.4	紐一括。
214-4	空封筒			大津市別所総本山園城寺中智證大師讃会事務所	秋山芳季殿	1	封筒	21.8 ×8.3	紐一括。
214-5	空封筒			秋山芳季	秋山いく殿	1	封筒	22.0 ×8.5	紐一括。
214-6	空封筒					1	封筒	20.2 ×8.3	紐一括。
215	大宝院用紙					37	罫紙	25.0 ×33.8	紐で括る。
216	大和大峯山絵はがき					8	葉書	14.0 ×9.0	浄域大峰山封筒入り。
217	修験道焼香私記	明治27年旧8月28日	1894	天台寺門教導職準教師法師主鈴木祐弁	天台寺門教導職準教師授与秋山茂作	1	横帳	16.3 ×23.1	
218	引導作法次第	明治27年旧8月23日	1894	天台寺門教導職準教師法師主鈴木祐弁	天台寺門教導職準教師授与秋山茂作	1	横帳	15.2 ×17.9	
219-1	地気法					1	横帳	16.6 ×21.5	
219-2	[天盤写]					1	切紙	12.5 ×16.7	219-1の頁内に綴じ込み。本文の天盤を書写したもの。
220	修験宗引導作法私記	明治27年旧8月24日	1894	天台寺門教導職準教師法師主鈴木祐弁	天台寺門教導職準教師授与秋山茂作	1	横帳	15.6 ×19.8	

221	富士一山相伝神事之作法	明治27年旧7月20日	1894			1	横帳	15.0 ×20.0	表紙に秋山茂作と記載あり。
222	十句観音經					1	横帳	11.6 ×16.2	
223	修正導師作法			阿弥陀房		1	横帳	16.0 ×23.7	表紙「葛集」、「秋山数馬・山本斉」の人名記載、裏表紙「延宝八庚申年拾月八日」等の記載あり。
224-1	天台宗寺門派修験道村山行法結社信徒名簿	昭和15年4月1日改	1940	代表者 静岡県富士郡富士根村村山1242-3 秋山芳季[印]		1	横帳	13.3 ×18.2	代表者秋山芳季、信徒総代鈴木喜作・山本期太郎。
224-2	徴収令書	昭和17年2月20日	1942	第一教区宗務支所長西川寛英[印]	秋山芳季	1	切紙	13.5 ×10.1	224-1の頁内に綴じ込み。
224-3	振替貯金受領書	昭和17年3月12日	1942	秋山芳季	天台宗第一教区二部主事	1	切紙	13.0 ×6.0	224-2の頁内に綴じ込み。
225	入峰証明書	昭和 年 月 日				1	印刷物	23.7 ×16.5	未記入。
226	講組設立申請書	大正 年 月 日		静岡県富士郡富士根村村山1242-3秋山芳季 他1名	大本山聖護院門跡神変教会本部御中	1	印刷物	22.2 ×15.6	年月日未記入。
227	履歴書	昭和10年				1	印刷物	24.0 ×33.7	未記入。
228	添付書類					1	印刷物	24.2 ×33.7	未記入。
229	規則					1	印刷物	24.2 ×34.0	未記入。結社の規則。
230	宗教結社届	昭和10年				1	印刷物	24.2 ×34.1	未記入。
231	〔願文〕					1	縦紙	29.8 ×40.8	未稿。
232	〔願文〕	昭和2年今月今日	1927	富士山大宝院敬白		1	縦紙	31.6 ×40.6	昭和2年か。施主矢木正平の家門長久の祈願。
233	願文	大正4年今月今日	1915	富士山大宝院敬白		1	縦紙	30.5 ×39.9	日付「明治四十年今月今日」を抹消。硬筆書工藤熊吉・政太郎嗣子工藤肘次とあり。採燈大護摩供に関する内
234	添護摩之事					1	縦紙	28.0 ×48.5	端裏書「船舶33」とあり。沼津我入道区船舶の海上安全・大漁満足等を祈願。願主24船を記載、うち2船を抹消。
235	〔願文〕			富士山大宝院代参		1	縦紙	31.1 ×43.0	硬筆書「世話人ヲ初メ町内一同」とあり。端裏書「右我願」とあり。沼津我入道区不動尊での火生三昧に関する内
236	採燈大護摩供修行之事			富士山大宝院権大僧都芳季敬白		1	縦紙	36.1 ×49.1	採燈大護摩供に関する内容。
237	願文	昭和14年1月27日	1939	(富士山不動院大宝)		1	縦紙	32.0 ×40.7	貼紙「出征軍人武運」とあり。沼津我入道区で敵国降伏・出征軍人武運を火生三昧で祈願。
238	添護摩之事			富士山大宝院代参		1	縦紙	27.8 ×34.2	端裏書「世話人32年・33・35」とあり。沼津我入道区不動尊世話人の家内安全・業運繁盛等を祈願。願主16名を記載、うち1名を抹消。
239	〔願文〕	昭和40年10月25日	1965	富士山大宝院表白		1	継紙	19.3 ×62.0	
240	護摩堂建立主意書	明治28年3月	1895	富士山村山大宝院住職秋山寿芳謹言		1	縦紙	24.3 ×32.5	330番の前半部分か。明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に関わる再建。
241	奉告文	昭和34年8月	1959	聖護院門跡直属富士山大宝院権大僧都芳季敬白		1	縦紙	18.7 ×127.8	鷹岡町水源開削の竣工式に関する。
242	添護之事			(富士山大宝院)		1	縦紙	27.8 ×107.1	出征軍人の敵国降伏・出征軍人武運を祈願。沼津石原区の願主17名を記載、うち1名を抹消。
243	添護摩之事			(富士山大宝院)		1	継紙	31.8 ×79.8	講中(我入道区)出征軍人の敵国降伏・出征軍人武運を祈願。願主72名を記載、うち9名を抹消。
244	護摩堂建立主意書	明治28年2月	1895	富士山村山大宝院住職秋山寿芳謹言		1	郵紙	25.7 ×34.4	明治28年1月6日の大宝院護摩堂・居屋敷・家財火災に関わる再建。
245	添護摩之事			富士山大宝院代参		1	縦紙	28.8 ×34.5	沼津我入道区船舶の海上安全・大漁満足等を祈願。願主19船を記載、うち3船を抹消。
246	萬外集要	寛永19年正月吉日	1642	安田十兵衛開板之		1	横帳	13.3 ×20.1	万延元年4月の書込あり。
247	添護摩之事			富士山大宝院代参		1	縦紙	31.7 ×40.7	端裏書「添」とあり。沼津我入道区不動尊世話人の家内安全・業運繁盛等を祈願。願主11名を記載、うち1名を抹
248	〔願文〕	昭和貳年今月今日	1927	富士山大宝院秋山寿芳		1	継紙	31.3 ×69.3	「昭和貳年」の「貳」の右に「三」と記す。神変大菩薩の千二百御遠忌に関わる。
249	願文	昭和33年6月吉日	1958	鷹岡町代参 富士山大宝院権大僧都芳季敬白		1	縦紙	34.6 ×48.3	鷹岡町民の安定を祈願。
250	表白	昭和19年7月	1944			1	縦紙	31.7 ×40.5	「昭和十九年七月」の左に「昭和二十年十月」とも記す。願主柚木の「鈴木くま」の病平癒・諸障退散を祈願。

251-1	邪呪禁法則	明治25年8月下旬	1892	長谷川静男書写ス		1	縦帳	17.0 ×12.3	奥書「元本鈴木祐弁殿方ニアリ」。上・中・下で一冊。
251-2	{太郎坊権現刷物}(阿・吽)					1	印刷物	27.3 ×23.3	251-1の頁内に綴じ込み。
252	{冊子}(修験道による民間治療法)					1	横帳	16.0 ×20.5	
253	{刷札}(不動明王梵字)					1	切紙	13.8 ×9.9	255-1の頁内に綴じ込み。
254	金剛寿命経	寛政6年仲冬17日	1794	沙門廣道大宣敬書		1	縦帳	23.3 ×16.8	
255	富士山大縁記	明治27年旧10月6日	1894	写主寿福院鈴木祐弁	預主大宝院秋山茂作(印)	1	縦帳	24.4 ×16.2	表紙・各頁に割印各2ヶ所あり。奥書に安養寺所持本を浄蓮院北畠栄寿が書写した旨を記す。
256	当山修験宗門元起護摩法験和解	天明6年12月吉日	1786	柏森御境内御法用巡国正文先達超昇寺宝池苑院(印)		1	縦帳	22.7 ×15.8	奥書「豆洲平田村平間山医宝寺風山」
257	呪禁法則 下					1	縦帳	19.0 ×14.3	表紙に「富士山大宝院」とあり。
258	秘密法星祭 私記	万治2年(但し戊戌とあり)	1659	平吉山医宝寺法印義慶持主		1	横帳	11.4 ×15.2	
259-1	富士山別當興法寺住祭記過去帳					1	縦帳	27.6 ×19.8	裏表紙欠。近世後期の作成か。
259-2	{切紙}(しおり)					1	切紙	11.9 ×4.1	259-1の頁内に綴じ込み。「第二号」と記載あり。
259-3	{切紙}(しおり)					1	切紙	12.1 ×4.8	259-1の頁内に綴じ込み。「二十三号」と記載あり。
259-4	{切紙}					1	切紙	22.8 ×5.9	259-1の頁内に綴じ込み。割印3ヶ所あり。断簡か。
260	倭姫命世記					1	縦帳	26.6 ×19.0	題箋「倭姫命世記」、表紙「倭姫命世説 巻篇」。奥書に大治4年12月27日および応永25年仲夏書写とある。
261-1	修験道理護摩次第			大宝院住職秋山寿芳		1	横帳	16.7 ×24.0	
261-2	{祈禱札}(三宝荒神虫留守護)					1	切紙	27.1 ×7.1	269-1の頁内に綴じ込み。
262	護摩堂新築寄附帳	明治11年3月	1878	富士山村山大宝院住職試補秋山寿芳(印)		1	縦帳	26.6 ×17.8	帳面分離のため全体を紐で括る。後半部欠か。大宝院護摩堂建築に関する。
263-1	祭文	明治26年9月21日	1893	富士山興法寺塔中天台寺門教導職準教師 祭法主鈴木祐弁	富士山興法寺塔中天台寺門教導職準教師 授与之	1	横帳	24.0 ×16.0	
263-2	願文	明治34年今月今夜	1901	富士山奥之院興法寺大宝院敬白		1	継紙	22.5 ×73.9	263-1の頁内に綴じ込み。硬筆書の下書か。
263-3	{切紙}					1	切紙	7.3 ×3.2	263-1の頁内に綴じ込み。ト占を行った際のメモ書か。
263-4	{切紙}(駿東郡片浜村小諏訪白岩藤宇殿)					1	切紙	15.4 ×3.8	263-1の頁内に綴じ込み。ト占を行った際のメモ書か。
263-5	{切紙}(富士郡須津村中里武田定四郎)					1	切紙	11.2 ×3.6	263-1の頁内に綴じ込み。ト占を行った際のメモ書か。
263-6	{切紙}					1	切紙	12.8 ×2.9	263-1のの頁内に綴じ込み。ト占を行った際のメモ書か。
263-7	{切紙}(駿東郡原町高田清吉殿)					1	切紙	14.5 ×3.7	263-1の頁内に綴じ込み。ト占を行った際のメモ書か。
264-1	富士嶺勤行作法次第					1	横帳	17.8 ×19.7	
264-2	干福十二所神社	大正4年9月12日	1915	横山良吉		1	切紙	10.7 ×15.3	264-1の頁内に綴じ込み。祭神・宗典などのメモ書。
265	梵字諸私記	昭和42年6日未	1967	大僧都芳季		1	綴	24.8 ×20.7	6月末の誤記か。
266	誓願書			徒弟不動院中野栄照(印)・扶桑院根岸豊道(印)・渡邊源道(印)・村松照角(印)	富士山浄蓮院住職閣下	1	縦紙	31.2 ×40.6	
267	辞職御届	大正6年	1917	徒弟不動院中野栄照(印)・扶桑院根岸豊道(印)・渡邊源道(印)・村松照角(印)	富士山浄蓮院住職閣下	1	縦紙	31.2 ×40.6	
268	入船大事・乗船秘法・火伏作法・幸神講式	明治32年9月16日	1899	富士山興法寺中天台寺門教導職準教師 鈴木祐弁	富士山興法寺中天台寺門教導職授与準教師 秋山	1	横帳	11.1 ×15.0	奥付に朱印1ヶ所あり。
269-1	{吉凶判断書}					1	縦帳	25.3 ×16.9	
269-2	{切紙}(聖覚院安藤智良氏住所)					1	切紙	22.9 ×4.8	277-1の頁内に綴じ込み。神奈川県相模国高座郡上矢部西二四番地大峯篤照講社員。
269-3	{村協議費戸数割請求書兼領収証}	明治30年6月	1897	富士郡富士根村長長谷川與市(印)	秋山茂作	1	切紙	13.1 ×16.9	277-1の頁内に綴じ込み。

270-1	於祈禱作法	明治21年旧7月26日	1888	法主準教師 富士山明泉院大森寿教	授与 秋山	1	横帳	16.2 ×20.2	
270-2	[切紙](法会次第)					1	切紙	14.2 ×40.0	278-1の頁内に綴じ込み。本文の内容と関わるものか。
271	添護摩之事					1	豎紙	31.3 ×39.9	沼津我入道区船舶の海上安全・大漁満足等を祈願。願主28船を記載、うち6船を線引きで抹消、2船を貼紙で抹
272	添護摩之事			富士山大宝院代参		1	豎紙	31.9 ×42.3	端裏書「船舶」。沼津我入道区船舶の海上安全・大漁満足等を祈願。願主22船を記載、うち4船を抹消。
273	六根清浄大被					1	豎紙	39.4 ×53.2	
274	火生三昧ノ事			修験宗大本山聖護院門跡末富士山村山 大宝院秋山・村山大日院桑原・外行者代		1	豎紙	27.6 ×86.3	当山(村山興法寺カ)・富士宮市消防・青年・市民の火防 せを祈願し火生三昧を行う。
275	願文			大本山聖護院門跡直属富士山大宝院権 大僧都芳季代参[印「富士山大宝院」]		1	豎紙	30.2 ×39.2	朱印((大日如来)梵字)1ヶ所あり。家内安全・諸難消滅 等を祈願。
276	[願文]	昭和2年今月今夜	1927	法主富士山大宝院秋山寿芳敬白		1	豎紙	31.5 ×40.6	施主の家門長久・福寿円満等を祈願。
277	慶讃文	昭和34年10月吉日	1959	富士山大宝院秋山芳季敬白	鷹岡町天間地区	1	豎紙	25.6 ×67.0	鷹岡町天間地区の水源開削に際して鷹岡町を讃える慶 讃文。
278	佛頂尊勝蛇羅尼經					1	横帳	12.1 ×16.5	裏表紙に硬筆書「鷹岡村二本どよ七十八才杉山平」とあ り。
279	神代弓矢			教導職準教師富士山興法寺塔中富士山 寿福院鈴木祐弁敬白		1	豎帳	13.8 ×10.0	
280	佛頂尊勝蛇羅尼經					1	横帳	10.8 ×14.2	
281	聖無動尊大威怒王秘密陀羅尼經金剛手菩 薩説					1	切紙	16.1 ×6.7	左上に頁数1～59を記した計60紙を紐結びで一括にし構 成。
282	妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五	昭和7年2月15日	1932	大宝院芳季写之		1	折本	16.2 ×10.0	折本全体を紐結びし固定。
283	[天王祭祭文]			修験宗富士山村山大宝院僧正芳季代参		1	繼紙	19.2 ×58.5	封筒に天王祭とあり。
284	妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五	昭和8年10月20日	1933			1	繼紙	16.2 260.0	
285-1	佛説安宅神咒經					1	繼紙	15.7 ×369.9	
285-2	[祈禱札]			富士山大宝院		2	切紙	24.4 ×5.6	285-1に巻き込み、包紙「御祈禱配帙富士山大宝院」とあ り。
286-1	[祭文]	昭和42年3月吉日	1967	富士山大宝院		1	繼紙	19.9 ×110.8	遠藤建設社屋建築の落成式の祈願。
286-2	式次第			(富士山大宝院)		1	繼紙	19.9 ×158.5	286-1に折り込み。
287	奉納聖不動經			岩崎ひさ・岩崎傳太郎	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.0	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「現・青・ 黒・形」、岩崎家先祖代々零位。
288	奉納聖不動經			杉山実・杉山千枝子	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.1	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「爾・時・ 大・会」、浄性院泰岳光明居士。
289	奉納聖不動經			杉山美代	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.2	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「有・一・ 明・王」、誠徳院覚道義詮居士。
290	奉納聖不動經			杉山よね子・杉山よし江	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.3	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「是・大・ 明・王」、真空院知式妙光大姉・真法智俊童子。
291	奉納聖不動經			加藤柳三郎・加藤くに	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.4	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「有・大・ 威・力」、善応良清信士。
292	奉納聖不動經			加藤かね・加藤和男	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.5	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「大・悲・ 徳・故」、法山自豊信士。
293	奉納聖不動經			岩崎儀一	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.6	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「大・定・ 徳・故」、松風軒妙室良徳大姉。
294	奉納聖不動經			芹澤喜久雄	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.7	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「座・金・ 剛・石」、実翁義正上座・心室智鏡尼上座。
295	奉納聖不動經			浦野あき・浦野まき・浦野榎男	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.8	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「大・智・ 慧・故」、寿岳道善上座・松月妙林尼上座・賢堂昌栄上 座・覚法了念上座。
296	奉納聖不動經			浦野貞次郎・浦野一夫・浦野武夫	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.9	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「現・大・ 火・焰」、寿岳道善上座・松月妙林尼上座・賢堂昌栄上 座・覚法了念上座。
297	奉納聖不動經			齋藤貞次郎	大本山聖護院門跡御遠忌 慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.10	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「執・大・ 智・劍」、順武院宗一誠道居士。

298	奉納聖不動經			神部正作・神部マツエ・神部まさ江・神部君代	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.11	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「害・貧・瞶・癩」、靈名なし。
299	奉納聖不動經			神部藤吉・神部てる	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「持・三・昧・索」、靈名なし。
300	奉納聖不動經			神部三郎・神部誠次・神部清江	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「縛・難・伏・者」、靈名なし。
301	奉納聖不動經			眞野定藏・眞野つる・眞野健作・眞野修一・眞野高宏	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「無・相・法・身」、白堂惠鶴居士・惠海童子・松巖貞寿大姉。
302	奉納聖不動經			眞野ちよ・眞野文治・眞野昌介・眞野よし子・眞野時布	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「虚・空・同・體」、大透良徹居士・覚法了念居士・善応慧覚居士・戒室妙貞大姉。
303	奉納聖不動經			後藤彦次郎・後藤房太郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「無・其・住・處」、眞教妙俊信女・法源日道信士・成道妙謙信女。
304	奉納聖不動經			後藤春太郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経文字「但・住・衆・生」、德行院昌月信士・眞行院妙唱信女。
305	奉納聖不動經			眞野菊次郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「心・想・之・中」、瑞室妙鶴大姉。
306	奉納聖不動經			眞野菊次郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「衆・生・意・想」、瑞室妙鶴大姉。
307	奉納聖不動經			眞野菊次郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「各・各・不・同」、瑞室妙鶴大姉。
308	奉納聖不動經			眞野菊次郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「隨・衆・生・意」、瑞室妙鶴大姉。
309	奉納聖不動經			眞野菊次郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「而・作・利・益」、瑞室妙鶴大姉。
310	奉納聖不動經			眞野要藏・眞野助四郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「所・求・円・満」、羯堂妙寿尼上座・得道自法上座。
311	奉納聖不動經			芹澤金太郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経文字「爾・時・大・会」、実翁宗義居士。
312	奉納聖不動經			芹澤操	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.12	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「聞・説・是・経」、泰岳玄勝居士。
313	奉納聖不動經			眞野福太郎	大本山聖護院門跡御遠忌慶讃写経会	1	印刷物	23.2 ×7.13	包紙あり。写経注意書(印刷)同封。写経文字「皆・大・歡・喜」、昭道慧孝上座。
314	佛説最勝護国宇賀耶頓得如意宝珠陀羅尼經	昭和9年4月3日	1934			1	継紙	15.7 ×571.5	
315	法号授与証	昭和15年5月25日	1940	総本山園城寺貫主大僧正田中道淳	権律師秋山芳季	1	堅紙	22.1 ×28.7	朱印[「総本山園城寺」]1ヶ所、割印1ヶ所あり。大宝院法号の授与。
316	宗門独立証	昭和21年3月5日	1946	修験宗管長大僧正岩本光徹	行法教会 権大律師秋山芳季	1	堅紙	27.4 ×39.0	朱印[「修験管長」]1ヶ所あり。宗派独立に際し本山定紋種子袈裟一領を授与。
317	火生三昧ノ事	1月吉日		富士山大宝院芳季 外行者敬白		1	継紙	31.5 ×34.6	講中のため火生三昧法で祈願。
318	火生三昧ノ事			修験宗総本山聖護院末大宝院住職僧都秋山芳季ノ敬白・大日院桑原善信代参		1	継紙	31.5 ×60.5	重林寺住職・信徒総代・警察署・消防団員・諸有志等の火防せに火生大護摩供を実施。
319	添護摩之事			富士山大宝院代参	総代山縣敬司 他5名	1	堅紙	26.2 ×36.5	大宝院本尊主管者鈴木勲・総代・区長等の家内安全・業運繁盛等を祈願。
320	[願文]			大本山聖護院門跡末富士山大宝院住職権大僧都芳季 外不動尊信者代参(訂正)		1	堅紙	31.7 ×40.7	端裏書「願文」。貼紙訂正の下は「富士山大宝院大律師芳季」とあり。不動尊信者の家内安全・諸難消滅等を祈
321	蚕養秘法・蚕養本地・蚕養秘密	明治29年6月25日	1896	富士山興法寺塔中天台寺門教導職準教師鈴木祐弁	富士山興法寺塔中天台寺門教導職準教師秋山茂作	1	横帳	12.3 ×15.0	
322	山傳來ノ作法					1	横帳	16.6 ×23.0	表紙「私記見無用」とあり。富士山講式・荒神濡手法、弁財天修儀之法など。
323	[刷札](役行者・前鬼・後鬼像)					2	印刷物	51.1 ×36.3	
324	[刷札](役行者像)					1	印刷物	24.3 ×10.8	「大和国南葛城郡茅原山」。
325	[刷札](役行者御母君白専女尊像)					1	印刷物	23.5 ×12.0	「大和国葛上郡茅原山」。
326	御祈祷配帙			富士山大宝院		19	印刷物	39.5 ×13.0	祈禱札包紙。
327	[祈禱札](富士山本尊大日如来・雲切不動明王・開山神変大菩薩守護之攸)					39	印刷物	24.0 ×8.9	朱印1ヶ所あり。
328	[祈禱札](金剛界大日如来真言)					9	印刷物	24.2 ×8.6	朱印1ヶ所あり。
329	[祈禱札](三宝大荒神守護攸)					42	印刷物	34.8 ×10.5	



330	[寄附連名簿断簡]					1	罫紙	24.2 × 32.5	240番の後半部分が。
331	[願文下書]					1	罫紙	24.1 × 26.9	
332	地気法	慶応4年仲冬吉日	1868	富士山正大先達浄蓮院法印栄寿示之	授与明泉院寿教	1	横帳	15.3 × 18.9	
333	十八道					1	横帳	13.5 × 19.1	裏表紙に「平田山医宝寺宝蔵院義慶」とあり。
334	[豪勇長谷部信連以下49篇]					1	冊子	18.9 × 14.2	表紙および2頁以前・790頁以下を欠く。タイトル及び出版年不明。
335	新漢和大辞林	大正4年5月16日10版	1915	東京市日本橋区通4丁目4番地 公文書院		1	冊子	19.5 × 15.4	児島献吉郎監修。
336-1	修験 第70号	昭和10年1月1日発行	1935	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-2	修験 第75号	昭和10年11月1日発行	1935	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-3	修験 第77号	昭和11年3月1日発行	1936	京都市聖護院門跡内	修験社	2	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-4	修験 第78号	昭和11年5月1日発行	1936	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-5	修験 第79号	昭和11年7月1日発行	1936	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-6	修験 第80号	昭和11年9月1日発行	1936	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。41頁修験道法階級証受者「一僧祇・七月廿二日・静岡秋山芳季」とあり。
336-7	修験 第81号	昭和11年11月1日発行	1936	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-8	修験 第82号	昭和12年1月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。39頁誌代領収報告に「静岡 秋山芳季殿」・「静岡 北畠栄俊」とあり。
336-9	修験 第83号	昭和12年3月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-10	修験 第84号	昭和12年5月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-11	修験 第85号	昭和12年7月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-12	修験 第86号	昭和12年9月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-13	修験 第87号	昭和12年11月1日発行	1937	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-14	修験 第88号	昭和13年1月1日発行	1938	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-15	修験 第89号	昭和13年3月1日発行	1938	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-16	修験 第91号	昭和13年7月1日発行	1938	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-17	修験 第92号	昭和13年9月1日発行	1938	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-18	修験 第93号	昭和13年11月1日発行	1938	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-19	修験 第94号	昭和14年1月1日発行	1939	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-20	修験 第95号	昭和14年3月1日発行	1939	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。
336-21	修験 第99号	昭和14年11月1日発行	1939	京都市聖護院門跡内	修験社	1	冊子	22.1 × 14.1	紐一括。裏表紙損傷。
337	[間取り図]					1	印刷物		青焼版。

## 大宝院秋山家資料目録【その他編】

番号	資料名	寸法(cm)	点数	備考
1	不動明王座像	高さ54.4×幅25.6×奥行21.2	1点	木造。
2	阿弥陀三尊像	高さ39.9×幅27.5×奥行18.7(厨子寸法)	1点	木造。厨子入。

3	カラス天狗(阿)	高さ28.0×幅16.0×奥行12.5	1点	木造。太郎坊権現像か。
4	カラス天狗(吽)	高さ28.5×幅20.5×奥行13.5	1点	木造。太郎坊権現像か。
5	大日如来座像	高さ63.7×最大幅40.5	1点	鋳物。
6	不動三尊像	高さ26.8×幅19.3×奥行12.4	1点	木造。矜羯羅童子は分離しており、当初からのものかは不明。
7	狛犬(阿)	高さ40.2×幅22.8×奥行34.0	1点	石造。
8	狛犬(吽)	高さ40.1×幅21.8×奥行29.7	1点	石造。一部破損。
9	狛犬(吽)	高さ7.0×幅5.5×奥行5.0	1点	石造。頭部のみ。
10	大日如来座像	高さ39.8×幅31.7×奥行27.2	1点	鋳物。銘文(前面)「勢州蛸路住常法夜原仲次作」(後面)「奉鑄大日如来銅像一躯并称念鐘一具(中略)施鳥羽藤之郷飯田八兵衛・勢州大湊住人内田八右衛門(中略)以上同行十三人享保二丁酉天正月」
11	不動明王立像	高さ12.0×幅5.1×奥行4.7	1点	木造。厨子入(縦15.7×奥行7.0×高さ5.2)。
12	不動明王立像	高さ9.1×幅3.3×奥行1.9	1点	木造。透明プラスチック製容器入り。
13	御照体	高さ43.0×幅42.0×奥行	1点	
14	御照体	高さ53.0×幅36.0×奥行25.0	1点	
15	燭台	高さ56.0×径19.6	1点	真鍮製。
16	燭台	高さ55.0×径20.0	1点	真鍮製。
17	金属製竹節型華瓶	高さ14.3×径6.8	1点	大寺院祭壇では幣立として使用。
18	筒型鋳物	高さ15.5×径6.6	1点	鋳物。
19	木製壺	高さ16.0×径9.4	1点	木製。
20	華瓶	高さ11.5×底直径7.0	2点	2点で1組。
21	華瓶	高さ11.5×底直径7.1	2点	2点で2組。
22	火舎香炉	高さ12.6×直径11.3	1点	
23	火舎香炉	高さ12.8×直径12.7	1点	
24	飯食器	高さ7.9×径8.8	2点	
25	飯食器	高さ7.2×径7.2	1点	
26	五鈷鈴	全長16.5×径7.4	1点	
27	金剛盤	縦18.5×横24.5×高さ4.3	1点	
28	六器もしくは二器の椀		5点	
29	六器もしくは二器の台皿		5点	
30	六器もしくは二器の椀		5点	
31	二器(灑水器・塗香器)の椀		3点	
32	六器もしくは二器の台皿		5点	
33	二器(灑水器・塗香器)の蓋		4点	
34	二器(灑水器・塗香器)の蓋		5点	
35	法螺	長さ33.3×胴回り41.2×横14.0	1点	
36	法螺	長さ40.9×胴回り52.0×横19.0	1点	
37	鑿子	高さ12.0×径18.3	1点	台座付き。
38	倍	長さ21.5×径2.4	1点	
39	燭台	高さ27.2×底直径6.4	1点	
40	燭台	高さ20.0×底直径6.9	1点	
41	三方	高さ18.1×幅20.8奥行20.8	2点	赤漆塗。
42	三方	高さ17.7×幅21.0奥行21.3	2点	1セット。
43	御幣	長さ41.0×幅25.5	1点	
44	幣串(付 盗人必滅守護札)	幣串長さ57.6×径1.0	1点	守護札縦11.9×横6.8、表面「御守護(印)盗人必滅 願主施主本人 富士山大宝院」、裏面「祈願(梵字)」。
45	幣串(付 高八山太郎坊大権現守護札)	幣串長さ91.7×径1.0	1点	守護札縦8.2×横4.9、「奉修高八山太郎坊大権現守護(印)・盗難消除」。
46	円盤	直径13.0×高さ4.0	1点	
47	御幣立	幅60.0×高さ30.0×厚さ	1点	
48	御幣	長さ46.5×幅20.0	5点	青・黄・赤・白・黒の5色。
49	御幣	長さ49.1×幅19.5	1点	
50	焼香炉	縦10.2×横16.4×高さ11.0	1点	
51	錫杖	長さ27.3×最大幅6.4	1点	

52	錫杖	長さ27.5×最大幅6.7	1点	
53	錫杖	長さ27.0×最大幅4.9	1点	
54	錫杖	長さ23.9×最大幅5.5	1点	
55	錫杖	長さ24.2×最大幅5.0	1点	
56	錫杖	長さ20.8×最大幅4.9	1点	
57	錫杖	長さ19.9×最大幅4.8	1点	
58	三鈷剣	全長43.2×最大幅9.6	1点	
59	剣	長さ42.5×刃長さ29.5×刃幅3.3	1点	
60	最多角念珠	1周82.0×長さ66.8	1点	
61	独鈷杵	長さ13.4×幅1.5	1点	
62	独鈷杵	長さ13.8×円周6.0	1点	
63	五鈷杵	長さ14.5×五鈷円周11.7	1点	
64	護摩杓	全長7.4×厚さ1.2×最大幅2.6	1点	
65	知ノ輪	直径20.5×厚さ2.5	1点	
66	ゼイチク	長さ31.8×径0.2	1組	49本(1本破損)。
67	ゼイチク	長さ28.0×径2.0	1組	布袋入り、50本1組。
68	ゼイチク	長さ27.5×径0.2	1組	紙で巻かれている。40本1組。
69	螺緒	長さ91.0×幅5.0	2点	
70	幣串	長さ40.1×幅2.0×厚さ0.8	2点	
71	竹籠	高さ24.5×長さ50.0×奥行 き26.0	1点	内部底に「秋山氏」とあり。
72	華瓶	高さ15.8×径11.8	1点	大宝院祭壇では幣立として使用。
73	印池(皿)	高さ5.7×径17.8	1点	陶製。容器内に墨を染み込ませた印肉あり。
74	印池(皿)	縦12.5×横12.5×高さ5.3	1点	陶製。容器内に朱肉あり。
75	用途不明木片	長さ14.1×径1.5	5点	木製。
76	用途不明装飾品		複数	破損。
77	火打具	長さ22.6×幅6.9×厚さ3.9	1点	火打金(5.3×2.6×1.3)ほか付属。
78	版木(「富士山火王・悪病退散・火防盜賊除」・太郎坊権現像2体)	縦26.5×横12.5×厚さ1.7	1点	
79	版木(護摩堂寄付連名簿換舌)	縦22.6×横32.4×厚さ2.2	1点	明治24年の大宝院「護摩堂修腹信徒寄付連名簿」の換舌。裏面も版木(野紙作成用)。
80	版木(阿弥陀三尊像・「富士山」)	縦41.4×横25.4×厚さ2.7	1点	
81	版木(太郎坊権現像)	縦25.8×横11.4×厚さ1.9	1点	裏面「富士山大宝院」と墨書あり。不動明王になぞらえた図柄。
82	版木(不動明王種子)(「御祈禱配帙 富士山大宝院」)	縦40.4×横12.5×厚さ2.7	1点	祈禱札包紙表書用。
83	版木(不動明王種子)(「御祈禱之札・火防盜賊除御守護・高八山太郎房大権現 富士山大宝院」)	縦39.2×横11.8×厚さ0.9	1点	裏面も版木(日天子種子)「當歳属星供之牘・善星皆来・悪星退散 富士山大寶院」とあり。
84	版木(「星祭火生護摩大法供養・法主不動院・旧月日 東椎路」)	縦37.8×横9.6×厚さ1.3	1点	不動院文海(秋山文作)使用の版木か。
85	版木(「當歳属星供之牘・善星皆来・悪星退散 富士山大寶院」)	縦33.8×横12.2×厚さ0.9	1点	
86	版木(不動三尊種子)(「護摩供寶牘・療衆生病・梵焼諸障 富士山大寶院」)	縦41.9×横13.5×厚さ1.6	1点	裏面も版木(日天子種子)「當歳属星供之牘・善星皆来・悪星退散 法主大寶院」とあり。
87	版木(不動三尊種子)(「護摩供御牘 富士山大寶院」)	縦41.9×横12.2×厚さ2.6	1点	裏面も版木(不動三尊梵字)「奉修護摩供家内安全祈攸 富士山大宝院」とあり。
88	版木(宝船像・「富士山興法寺 船靈大明神」)	縦24.5×横39.5×厚さ3.0	1点	裏面も版木(「月並護摩供宝牘・富士山別當辻之坊」)とあり。
89	版木(大請願種子)(「南無三寶荒神虫留守護」)	縦24.8×横7.2×厚さ2.3	1点	版木(「秋過テ冬ノ始メ八十月二霜枯コケ八虫ノ子モ無・秋風八冬ノ始メニ立モノ草木モ枯ル虫モ鎖留」)とあり。
90	版木(「御守護」)	縦37.8×横11.9×厚さ1.2	1点	版木は縦21.2×横11.9cm部分までを使用。
91	版木(不動三尊種子)(「奉修不動明王護摩供家内安全祈處」)	縦32.9×横8.5×厚さ2.6	1点	左下部を欠損。
92	版木(不動明王種子)	縦13.4×横6.5×厚さ2.8	1点	
93	版木(三峯富士山像)(「富士山御祈禱之」)	縦25.7×横8.3×厚さ2.3	1点	
94	版木(大請願種子)(「奉祭三寶大荒神守護之攸」)	縦27.2×横12.6×厚さ0.9	1点	裏面も版木(不動三尊種子)「奉修不動尊法供諸障退散除病安全祈攸・真言」とあり。

95	版木(大請願種子)('奉祭三寶大荒神守護之攸。')	縦20.5×横6.3×厚さ1.1	1点	裏面も版木(不動三尊種子・真言)('但住衆生 是大明王 無其所居 心想之中')とあり。
96	版木('奉勸請九万八千五百七十二神敬馬風虫留祈。')	縦35.1×横11.7×厚さ2.1	1点	
97	版木(九星守護神の種子・尊名)	縦30.7×横20.8×厚さ3.7	1点	各種御守札用版木か。
98	版木('八大守護神・悪病退散・火防盜賊除。'・太郎坊権現像2体)	縦35.3×横11.3×厚さ2.3	1点	裏面も版木(不動明王種子・不動明王像)('法主不動院')とあり。
99	版木(罫紙)	縦16.0×横24.9×厚さ1.5	1点	罫紙作成用の版木。
100	版木(大日三尊種子)('富士山本尊大日如来・開山神変大菩薩・雲切不動明王守護之')	縦25.7×横7.7×厚さ2.3	1点	
101	版木(大請願種子)('奉祭三寶大荒神守護攸・七福即生・七難即滅。')	縦34.7×横10.5×厚さ1.4	1点	裏面も版木(日天子種子)('奉祭折北辰妙見尊星北斗三台神君秘法供守護攸・示卦童郎護身三十六道風水神將・抱卦童子鎮宅七十二道靈符神將')とあり。
102	版木(不動明王種子)('御祈禱配帙 富士山大宝院。')	縦35.1×横11.9×厚さ2.1	1点	祈禱札包紙表書用。82より破損箇所多く使用感あり。
103	朱印(不動明王種子)	縦9.0×横8.0×厚さ6.8	1点	
104	朱印(一字金輪種子)	縦1.4×横0.9×厚さ1.8	1点	
105	朱印(金剛界大日如来種子)	縦1.1×横1.8×厚さ1.8	1点	大日如来種子は浅間大菩薩と同義。
106	朱印(胎藏界大日如来種子)	縦3.3×横2.5×厚さ2.2	1点	大日如来種子は浅間大菩薩と同義。
107	朱印(金剛界大日如来種子)	縦6.1×横5.1×厚さ1.0	1点	大日如来種子は浅間大菩薩と同義。
108	朱印(篆刻文字)	縦5.6×横5.6×厚さ5.0	1点	印文未詳。
109	朱印(大日如来種子・'富士山産御守。')	縦9.1×横2.0×厚さ2.0	1点	大日如来種子は浅間大菩薩と同義。
110	朱印('疫神除守護。')	縦7.0×横1.2×厚さ2.2	1点	
111	朱印('玉除守護。')	縦6.2×横1.3×厚さ6.3	1点	
112	朱印('身体健全。')	縦6.2×横1.3×厚さ6.3	1点	
113	朱印('三国第一山根本表口奥院宝印。')	縦5.2×横5.2×厚さ6.0	1点	
114	朱印('三国第一山根本表口奥院宝印。')	縦5.2×横5.2×厚さ2.5	1点	
115	朱印(薬師如来種子・真言曼荼羅)	縦6.8×横6.8×厚さ3.0	1点	
116	朱印(金剛界大日如来種子)	縦6.0×横4.5×高さ2.9	1点	大日如来種子は浅間大菩薩と同義。
117	朱印(篆刻文字)	縦7.0×横7.0×高さ5.9	1点	印文未詳。
118	朱印('富士山大寶院。')	縦4.7×横1.4×高さ2.7	1点	
119	パレン	縦11.5×横6.0×厚さ4.0	1点	御札印刷用。
120	パレン	長さ13.0×幅7.0	1点	御札印刷用。
121	パレン	長さ10.5×幅6.3	1点	御札印刷用。
122	パレン	長さ10.8×幅7.7	1点	御札印刷用。
123	パレン	長さ12.0×幅8.5	1点	御札印刷用。
124-1	ハケ	長さ14.3×幅6.1×厚さ3.0	1点	御札印刷用、箱入(縦15.5×横10.1×高さ3.0)。
124-2	ハケ	長さ10.4×幅4.1×厚さ2.6	1点	御札印刷用、箱入(縦15.5×横10.1×高さ3.0)。
125	ハケ	長さ15.8×幅9.2×厚さ3.0	1点	御札印刷用。
126	刷物用板面	縦34.9×横29.8×厚さ0.8	1点	版木印刷用。
127	古写真(人物)	12.6×8.7	1点	台紙つき。
128	古写真(人物)	9.4×6.2	1点	
129	古写真(石造物と馬)	24.5×19.0	1点	台紙つき。127と同一写真。
130	古写真(石造物と馬)	24.5×19.0	1点	台紙つき。126と同一写真。
131	古写真(大日如来)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
132	古写真(大日堂前柱立模様)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
133	古写真(前鬼後鬼像力)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
134	古写真(大日如来額)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
135	古写真(富士山村山から遠望)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
136	古写真(軸・南無妙法蓮華經)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
137	古写真(大日如来像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
138	古写真(絵馬)	24.5×19.0	1点	台紙つき。146と同一写真。
139	古写真(弘法大師像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
140	古写真(大日如来像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
141	古写真(大日如来像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
142	古写真(大日堂前)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
143	古写真(厨子入大日如来像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
144	古写真(高嶺総鎮守社)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
145	古写真(大日如来像・不動明王像他2体)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
146	古写真(法具類7点)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
147	古写真(龍樹菩薩他5尊像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。
148	古写真(蔵王権現像)	24.5×19.0	1点	台紙つき。

149	古写真(絵馬)	24.5×19.0	1点	台紙つき。135と同一写真。
150	算木	1.2×1.2×7.5	6本	6本1セット、くくり紐あり。
151	高級ローラー戸車	3.0×1.5×7.0	6点	箱入り。完成品2個、ローラーのみ3個、軸1本。J・O・J社製。
152	木札(五鬼善鬼神)	長さ25.4×幅8.2	1点	大正10年(1921)旧8月上旬、納入者「当峰先達大宝院・不動院・横田芳善」。
153	木札(子育不動明王)	長さ25.4×幅8.3	1点	大正10年(1921)旧8月上旬、納入者「当峰先達大宝院・不動院・横田芳善」。
154	木札(熊野三所大権現)	長さ25.4×幅8.3	1点	大正10年(1921)旧8月中旬、納入者「当峰先達大宝院・不動院・横田芳善」。
155	木札(奉修馬頭観世音菩薩)	長さ25.5×幅8.3	1点	納入者「富士峰修行者」。
156	木札	長さ25.6×幅8.3	1点	記入なし。
157	木札	長さ17.1×幅5.4	2点	包紙あり。記入なし。
158	縄紐	長さ37.2	1点	札を縛っていたものか。
159	切紐	長さ122.3	1点	
160-1	戦没海軍記章	長さ8.5×リボン幅3.6×メダル径3.0	1点	箱入り。「大正3年乃至9年」(1914~20)とあり。
160-2	戦没海軍記章	長さ2.8×幅1.8	1点	箱入り。
161	厨子	縦53.0×横32.0×高さ24.0	1点	3・4番を入れていた可能性あり。
162	奉納幕	縦91.0×横240.0	1点	昭和44年10月吉日奉納。奉納者不動丸芹澤傳太郎。
163	略袈裟	長さ88.6×幅5.1	3点	箱に「聖護院門跡制定」とあり。
164	帽子(モウス)	長さ42.0×幅15.5×高さ	1点	長さはリボン込み。
165	結袈裟	長さ52.9×幅19.8	1点	修験関係衣服。
166	富士山信仰関係衣料鈴懸(上衣)		1点	
167	富士山信仰関係衣料鈴懸(袴)		1点	
168	富士山信仰関係衣料鈴懸(上衣)	横186.7×縦83.2	1点	
169	富士山信仰関係衣料鈴懸(袴)	横125.9×縦77.5	1点	
170	富士山信仰関係衣料法衣	横179.2×縦128.7	1点	黒。
171	脚半(ハバキ)	長さ39.8×幅36.5	1足	紺。
172	手甲(コテ)	長さ35.1×幅25.5	1組	紺。
173	手甲(コテ)	長さ21.7×幅21.2	1組	紺・短。
174	手甲(コテ)	長さ37.0×幅16.7	1組	白。
175	脚半(ハバキ)	長さ37.7×幅40.1	1足	白。
176	頭襟(トキン)	高さ4.0×径9.5	1点	箱あり。「昭和中央奉禱入峯記念品」「大本山聖護院門跡」とあり。箱裏に[印](京都林勘兵衛調整とあり。頭襟裏に「昭和中央御祝禱入峯記念聖護院門跡」とあり。
177	頭襟(トキン)	高さ4.0×径9.5	1点	箱あり。「昭和中央奉禱入峯記念品」「大本山聖護院門跡」とあり。箱裏に[印](京都林勘兵衛調整とあり。頭襟裏に「昭和中央御祝禱入峯記念聖護院門跡」とあり。
178	頭襟(トキン)	高さ4.0×径9.5	1点	箱なし。頭襟裏に「昭和中央御祝禱入峯記念聖護院門跡」とあり。
179	頭襟(トキン)	高さ4.0×径9.5	1点	紐なし。頭襟裏に「昭和中央御祝禱入峯記念聖護院門跡」とあり。
180	海軍帽子		1点	